人口減少を食い止めるアイディア編

やまと市民討議会

報告書

（平成 27 年度 第１回）

平成 28 年１月

大和市

目次

1．開催概要…… 2
（1）本事業の目的 …… 2
（2）当日のプログラム …… 3

2．討議会の内容…… 4
（1）大和市の人口を取り巻く状況と課題 …… 4
（2）市民討議会の進め方 …… 4
●話し合いのお約束…… 4
●付箋の書き方のポイント…… 4
（3）午前の意見交換｜ワールドカフェ …… 5
●進め方…… 5
●流れとまとめ…… 7
●詳細結果…… 8
（4）午後の意見交換｜ワークショップ …… 24
●進め方…… 24
●流れとまとめ…… 26
●詳細結果…… 28

3．参加者アンケートのまとめ…… 54

4．市民討議会の写真…… 60

5．大和市の人口を取り巻く環境…… 62

1. 開催概要

（1）本事業の目的

これから大和市が迎える人口減少をどのようにすれば食い止められるか、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成 27 年 10 月 3 日（土）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」と言われる方々に参加していただくため、無作為抽出した市民 3000 名に案内を送付しました。

当日は、抽選で選ばれた 33 名と市内高等学校 5 校から生徒 10 名に参加していただきました。

（2）当日のプログラム

日時：平成２７年１０月 ３日（土）

場所：大和市役所５階　研修室　（大和市下鶴間１丁目１番１号）

小田急江ノ島線「鶴間駅」からのアクセス：

【徒歩の場合】鶴間駅東口から約 10 分

【バス利用の場合】約 5 分

（「鶴間駅東口」乗車、「オークシティ前」下車 徒歩約 3 分）

小田急江ノ島線「大和駅」からのアクセス：

【バス利用の場合】約 10 分

（「大和駅西口」乗車、「市役所市立病院前」または「市立病院」下車 いずれも徒歩約 3 分）

・市民討議会は公開して行いました。

時間	所要時間	実施内容
9:30	-	受付開始
10:00	10 分	開会のあいさつ・市民討議会の目的について
10:10	20 分	大和市の人口を取り巻く環境
10:30	20 分	本日の進め方の説明
10:50	60 分	**8 グループ（6 ～ 7 人）に分かれて 2 つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。** テーマ①：大和市で人口が減っていく原因を出し合おう テーマ②：人口減少を食い止めるためのキーワードを出し合おう
11:50	30 分	グループ成果の発表
12:20	60 分	昼食・休憩
13:20	10 分	市長あいさつ 午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
13:30	120 分	**午前中に出された意見を受けて、8 グループ（6 ～ 7 人）に分かれて、各グループが 1 つのテーマについて、意見交換を行います。** [テーマ例]　テーマ①：「出会い」 テーマ②：「仕事」 テーマ③：「子育て」 テーマ④：「教育・意識啓発」
15:30	25 分	グループ成果の発表
15:55	20 分	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
16:15	15 分	閉会のあいさつ・アンケート記入

2. 討議会の内容

（1）大和市の人口を取り巻く状況と課題

市職員より、大和市の人口を取り巻く状況や課題について、説明を行いました。

（2）市民討議会の進め方

コーディネーターより討議の進め方について説明を行いました。

討議は、自由な意見を出し合うために、少人数で意見交換を行うグループワーク形式で実施しました。

●話し合いのお約束

次のことを、話し合ううえでの約束事項としました。

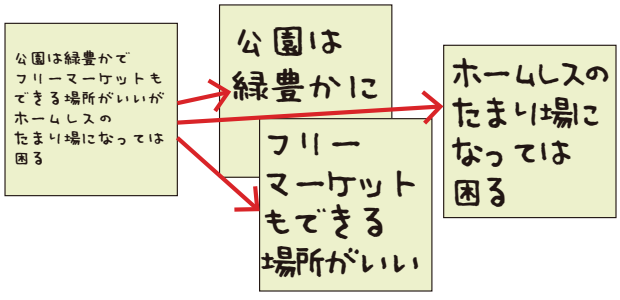
1．全体の進行がスムーズにいくように協力し合いましょう

2．たくさんの事を言いたい時でもなるべく多くの人が議論に参加できるように配慮しましょう

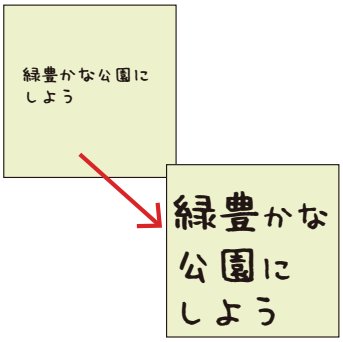
3．他の人の意見を否定したりせずに、いろいろな考えの人がいることを理解しましょう

●付箋の書き方のポイント

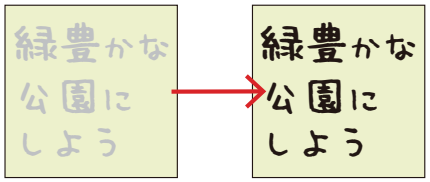
・1枚に1つのことを書く



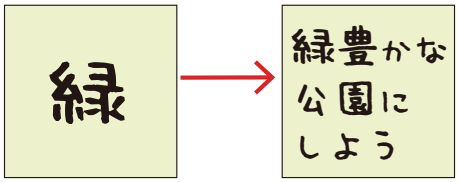
・できるだけ大きな文字で書く



・配布しているサインペンを使って書く



・単語ではなく、何をどうしたいかがわかるように書く



（3）午前の意見交換｜ワールドカフェ

●進め方

・大和市の人口減少の原因や課題を出し合い、人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿について議論しました。

・討議は 6 ～ 7 人のグループに分かれて、2つのテーマについてワールドカフェ方式で意見交換を行いました。

【ワールドカフェとは】

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいて、1995 年に Juanita Brown（アニータ・ブラウン）と David Isaacs（デイビッド・アイザックス）によって開発された話し合い（対話）の手法です。

テーマ①：大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

テーマ②：人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

午前の進め方（10:50～12:20）

6～7人で席替えしながら2つのテーマについて意見交換します

1）8テーブルに分かれて座ります
名札にお示ししたグループにご着席ください。

2）ヒトコト自己紹介
プロフィールシートを使って自己紹介をします。

3）テーマ①：大和市で人口が減っていく原因を出し合おう
思いついたことを何でも出し合いましょう。特に気になった原因については、深堀してみてください。

4）出し合った意見を書き出そう
テーマはピンク色の付箋に一人 3 枚ずつ書いて貼り出しましょう。

5）席替え
名札に示した座席情報を基に移動します。

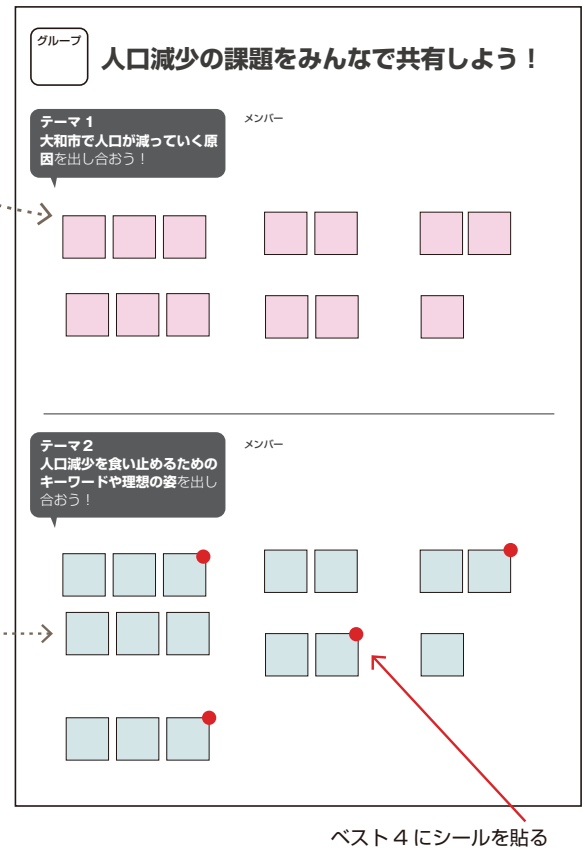
6）前のグループの振り返りと自己紹介
前のテーブルで話したことを振り返り共有します。

7）テーマ②：人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう
テーマ①で出された原因をもとに、大和市がどうなったら人口減少を食い止められるのか、理想の姿を出し合いましょう。

8）出し合った意見を書き出そう
青色の付箋に一人３枚ずつ書いて貼り出します。

9）グループのベスト意見を選び発表しよう
他のグループに聞かせたい意見を一人１枚ずつシール投票で選び、発表者を決めて発表します。

テーマ①②のまとめシート



●流れとまとめ

・2 つのテーマについて 8 つのグループで話し合っていただきました。参加者のみなさんの意見をまとめると、次のとおりです。

大和市で人口が減っていく原因を出し合おう	人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう
・保育所などの子どもを預けられる施設が不十分 ・治安に不安があり安心して子育てできる環境でない ・出会いの機会やコミュニケーション力の不足から、若者の恋愛離れが進んでいる ・魅力的な職場や学校が少なく、若者が転出するきっかけとなっている ・保育費や教育費を賄っていけるのか、経済的な不安がある ・子どものいない夫婦生活を選択する人が増えている ・地域とのつながりが薄く、市への愛着を持たない人が増えている ・出産後に仕事復帰できるか心配 など	・市のサービスをアピールして、支援策の認知度を高め、市のイメージアップを図ろう ・保育所・病児保育に対応する施設の増設、保育・教育費の補助、遊び場の充実など、子育てに魅力を感じるまちにしよう ・婚活イベント、リノベーションした空き家の紹介、子育て支援など結婚から子育てまで連続して支援し、大和市に家族を増やそう ・イベントやボランティア活動を通じて、地域のコミュニケーションを活発にし、リアルな人間関係のあるまちにしよう ・子どもが多くても、子育てや介護を心配せずに大和市内で仕事ができる環境をつくろう など

●詳細結果

1グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ1　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

恋愛や出会いの機会の減少

・恋や愛を知らない、興味がない

・出会いがない

若者で結婚する人が減少している

・若者が結婚しない

・結婚する人の減少

・結婚が出来る環境を

出産や子育てに意欲的でない人が増えた

・出産に意欲的でない

・子どもが欲しいと思わない

仕事に忙しく、子どもについて考える時間がない

・仕事ばかりで時間がない

・子どもについて考える時間がない

子育てへの金銭的不安や経済的保障の少なさ

・３人目への保障

・経済力への不安・子育て支援が不安

まちの魅力など、子育て環境に不満がある

・家が狭い

・住みやすいまちとして不満

子育てに関する情報が不足している

・情報不足

・子育て支援に関する情報をオープンにする

死亡率を低くする

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

まずは同世代の付き合いが獲得でき、徐々に多世代との付き合いへ広げていくためのたまり場、活動できる場所をつくれると良い

・若者のたまり場をつくる

・若い世代が活動できる場所づくり

立場が違う人たちとのつきあい方を覚えるため、イベントやお祭りなど、気軽にコミュニケーションを楽しめる機会をつくれると良い

・市の主催でイベントを行う、出会いを増やす

・どんな人とでもコミュニケーションをとれる環境

・普段見るような人と気軽に話しかけられる

・コミュニケーションの場をつくるイベントの情報をしっかり伝え、参加者を増やせると良い

・イベントやお祭りのお知らせ（広告）を積極的に増やしていく

・イベントの情報をきちんと参加者に伝える

企業と市が連携して子育てをサポートできると良い

・職場の環境をより良く改善する（子どもを産む際のサポートを行う）

・市が協力して子育てのサポートをする（保育所などの設置）

若者の出会いの場や、利便性の良い子育て施設がある魅力的なまちをつくろう

・明るいまちづくり

・若者の出会いの場をつくってほしい

・市の中心部に子育て支援がある環境

２グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

乳幼児の一時預かり施設が少ない、市立保育園が少ないのでお金がかかるなど、児童施設が充実していない

・児童施設の信頼度の減少

・児童施設を充実し、安心な子育て

・公立の幼稚園、保育園が少ない

・乳幼児時期（３才前）くらいの一時預かり施設が少ない

・児童施設をつくる費用を市が出す

安心して親が働ける環境がない

・安心して親が働きに出られる環境づくりをしなければならない

親の介護の心配があり、出産に踏み切れない

・これから子どもを産む世帯は子どもと親の介護、両方を考えなくてはいけない

・介護負担のかからない環境が足りない

働いている若い女性が、出産に意識を持ちづらい

・子どもがいる世帯は２人いる世帯が多いが、子どもがいない世帯も多い

・働いている女性に出産、子育ての意識が薄い

通勤時間が長い

・東京圏に出るのに時間がかかり面倒

・ベッドタウンにならない

子育て世代向けの住宅が不足している

・市内の団地が少ない

・住宅を充実し、核家族化にも対応

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

大和市独自の子育て環境の良さをもっとアピールできると良い

・「子育てするなら大和市」をアピール（ホームページが充実）
・大和市独自の良さというものをもっとアピールすべき（中学校でも給食があるなど）
・他の市とは違う大和市の良さをアピールしていくこと

世話焼きばあさんなど、若者の出会いの促進につながる環境を設置できると良い

・（出会いの場の）環境づくり
・世話焼きばあさん的な存在が必要

市の企画について見直す場を設けられると良い

・現在大和市が進めている企画、運営事項の推進、整備、見直し

大和市全体のイメージアップを図れると良い

・大和市のイメージアップを図る　(例)騒音問題の減少、大和駅前再開発

企業進出の素地をつくっていけると良い

・企業進出の素地づくりの努力（従業員の増加）

増加する空き家に子育て世代が住めるようにできると良い

・空き家対策を子育て世代に活かせる方法を考えてみる

３グループ （太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

都心の利便性に比べると大和市に住まない

離婚が多い

・結婚した後、離婚しないようにする

治安の悪さなど子育て環境に不安がある

・独り立ちできるのか？健全に育つか不安

・治安が悪くて子育てが不安。大和市で子育てしたくない

・街路灯がなく怖い、子どもを安心して外で遊ばせられない

女性の社会進出や職場が市外にあること

・職場が都内→大和市にいない

・働く場所が市外になる

・女性の社会進出

子育てにお金がかかる

結婚しない人が増えている

・昔はお見合いがあった。今は経済的な余裕があっても結婚しない

女性の実家が大和市にない

・女性の実家を大和市につくることが大事

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

景気が回復して経済的不安も解消されると良い

・景気を良くしてお金に関しての不安を解消

新たにアミューズメントパークやアウトレットモールをつくるなど、魅力ある住みたいまちになると良い

・職場、仕事の関係→それでも大和に住みたい魅力づくり

・企業とのタイアップでアミューズメント施設をつくる（アウトレットとか）

・厚木基地の有効利用、活用

高齢者の健康寿命を延ばす、医療・介護施設を増やすなど、高齢人口を増やせると良い

・高齢者の健康寿命を延ばす

・介護施設、医療施設を増やす

大和市をおしゃれなまちとしてブランディングしよう

・大和市のおしゃれなスポットを使って、おしゃれにブランディングする

・大和市の「３兄弟ブランド」をつくってはどうか

出産・保育・教育への助成、児童施設の増設など、子育てに関わる補助制度を充実させて、子育て世代の移住を増やせると良い

・大和市内の幼稚園が３年間で約１５０万円かかるため、助成が必要

・長期休みに子どもを預けられなくて心配

・出産にかかる費用の助成

・乳幼児を預けられる施設をもっと増やす

・第１子から出産助成、教育補助を充実し、若年層の流入増を目指す

子育てのしやすさ、アクセスの良さ、外国人の住みやすさなど、大和市に住むメリットを具体的に示して移住する人を増やせると良い

・子どもに対する支援をもっと大げさに対外的に発信する

・大和市のローカルバス、湘南などへのアクセスの良さなどをアピール

・大和市に住む上でのメリットをアピール

・外国人（在日）の住みやすさをアピールし、外国人の人口増を狙っては

・相鉄、小田急、田園都市線など、アクセスの良さ

４グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

非正規社員の増加など、経済的理由で結婚に踏み切れない

・金銭的な理由で結婚に踏み切れていない

・正規社員率が大きく低下している（昔はいなかった）

大学などが理由で社会に出るまでに時間がかかり、結婚が遅くなっている

・大学などで学ぶ時間が増え、結婚が遅くなる

結婚自体に不安がある

・結婚後に漠然とした不安がある

出会いが減った

・人と出会う機会が減った

・社会に出ると出会いが減る

・ちょっとした出会いがない

コミュニケーションの場、人間関係に消極的な人の増加、結婚の世話役不足などによって結婚に至らない人が増えている

・大学や会社でも飲み会コミュニケーションの場が減った

・コミュニケーションの取り方が分からない人が増えた

・世話役不足

・人間関係などに消極的な方が増えた

・人とふれあう場が少なくなっている

・コミュニケーションの機会が少なくなった（ネットはダメ）

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

新幹線の駅をつくる、高層ビル特区をつくるなど都市計画、交通計画で人を集める施策ができると良い

・厚木基地をなくして、高層ビル特区で人集めする

・高座渋谷駅に新幹線の駅をつくり、人の往来を産み出す

既存の施設等をもっと活用できると良い

・行政が市民側に近づき、降りてきて公園などの状況を把握する

・のろっと、やまとんＧＯをフル活動して人の流れをつくる

自治会に入りたくなるような、魅力的なまちづくり活動ができると良い

イベントやお祭りなど人が集まる機会を増やし、出会いの場をつくれると良い

・地区ごとに毎月１回以上定期的に祭りをする

・多くの人々が積極的に参加しやすいイベントの企画

・若者同士が出会える場または若者が惹かれるイベントをつくる

他市と交流し、大和市の魅力をアピールできると良い

・他の市との交流を増やす

・土地の特質を県外市外にアピールする

多世代でコミュニケーションがとれる機会をつくり、友達づくりもできると良い

・年齢を問わずコミュニケーションがとれる機会づくり

・多くの友をつくる

・世代の違う人々が時間を共有できる機会をつくる

ボランティアなど定期的な社会貢献活動ができると良い

趣味の仲間で集まることのできるフリースペースなどができると良い

・趣味で集まる場所を民間で活発化する

・趣味で集まれるフリースペースがたくさんあると良い

５グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

アピール不足のために大和市の行政サービスや良さを知らず、より良い行政サービスのある市に転居してしまう

・大和市のイメージアップをする

・良い行政サービスを求めて転居する

・行政サービスのアピールが足りない

・当たり前だとは思っていても、他の市に比べていいところがあることを知るべき

職場に近い所や故郷に転居してしまう

・職場に近い所へ転居してしまうのではないか

・転入してきた人は、時が経つにつれて故郷へ戻ってしまう

厚木基地の悪いイメージだけが注目されている

・厚木基地の爆音問題によるイメージ

・イメージが悪い所だけがクローズアップされている

大和市に定住するイメージがなく、住宅の整備も足りていない

・大和市に対するイメージ（定住など）がない

・住宅の整備が足りない

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

保育園のサービスを見直し、利用しやすくなると良い

・保育園の情報とサービスの見直し

定住してもらうため、結婚、住宅、子育てまでの一貫した支援政策をつくれると良い

・婚活、住宅、子育て支援の総合 PR

・結婚、子育て、定住までの流れを組んだ政策を打ち出す

・行政の婚活イベント→まちのイメージを上げる努力をしながら出会いの場を作る→住宅を増やす→サービスは充実しているので人が住むのでは

婚活イベントや、結婚を斡旋する世話焼きおばさんの食事会などを行い、結婚する人を増やせると良い

・世話焼きおばさんの食事会→出会い

・まじめで気楽な婚活パーティを

空き家を活用してリノベーションし、住む人を増やせると良い

・空き家をリノベーションして活用（仕事は市内）

・市営住宅が少ない（存在を知らない）ので空き家を活用する政策を打ち出す

施設名の変更、利便性の高さ、行政サービスの良さをアピールして「住みやすい・育てやすい」魅力あるまちのイメージをつくれると良い

・イメージアップにつながる施設の改名

・交通の便の良さ、行政サービスの良さをもっと PR する

・大和のイメージを変えるためにもっといろんなところへ PR（売り込み）する必要がある

・サービスが充実していることをアピールして、「住みやすい、育てやすい」まちのイメージをつける

厚木基地を文化交流の点で捉え、プラスイメージに変えられると良い

・厚木基地などをマイナスイメージでなく、異文化に触れられるプラスイメージに変える

・悪いイメージをなくし、文化交流できる点を全面にアピールする

６グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

自然や外国人と交流できるという大和市のよさを活かしきれていない

・地域のよさを活かせていない（自然がある・外国の方が多い）

大和市の南北で地域格差があり、不満を感じる

・大和市の南北で地域格差が大きい

・地域に格差があると不満を感じている

まちの整備の不十分さから、住まいや子どもを持つことに不安を感じる

・地域の公園や周囲などの対策（治安）（見通しをよくする）

・住まいを構え、子どもを育てることに不安要因がある（治安、整備）

・（特に南部の）まちの整備が不十分（公園、トイレ、街灯など）

・歩道と車道の区別がない（大和図書館前の交通事故）

教育、福祉サービスが充実していない

若者の遊ぶ場がない

団地の高齢化が進んだこと

・いちょう団地（南部）の高齢化があり、子どもの数が少ない

駅前のイメージが悪い

・市のイメージアップによる人口増　(例)大和駅前の整備

・怪しいお店が多く、不安を感じる

厚木基地による騒音

・厚木基地があるから

大和市内に企業が少なく、働く場がない

・企業進出の素地づくり（従業員の増加）

・働く会社が少ない

人口は減少してもよいのではないか

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

出会いの場、コミュニケーションの場をつくろう

・出会いの場をつくる

・コミュニティの場や支援づくり（出会いの場）

安い住宅など、結婚を支援する施策をはじめよう

・結婚を支援する施策（安い住宅など）

昔のような大家族が住むまちにしよう

・マンションが多すぎる

・昔のように大家族制を進める

出産、子育て、教育、住宅取得に充実した行政の支援制度をつくろう

・産婦人科を誘致

・子どもたちへのサービスの充実

・児童施設の充実

・子育てしやすいサービス（住環境、教育や福祉の支援）

・大和市で新たに世帯を持つ人のための住宅支援

・高校、大学生への支援（学費）

駅周辺の整備など市のイメージアップを図り、人が集まり、「早く帰りたい」と思えるまちにしよう

・大和市の行政のイメージアップ

・早く家に帰りたい、この街が好きだ

・人が集まるよう駅周辺の整備

・「忙し過ぎ」から「休める」まちへ

７グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

結婚への考え方の変化、社会状況の変化、女性の進出により晩婚化が進んでいる

・楽しむという意識の違い
・若者の意識（結婚）の晩婚化が社会の流れに沿って進んでいる
・若い人の結婚に関する考え方
・社会全体の晩婚化による出生率の低下を改善するために出会いの場を増やす
・女性の社会進出
・時代により結婚観が異なる

出会いが少ない

・社会的活動による出会いの減少
・男女の出会いの場が少ない

市民コミュニティが減少し、地域のつながりが弱くなっている

・地域への愛着心
・市民コミュニティの減少
・地域のつながりが弱くなっている（商店街、町内会）

大和市中心部と周辺地域の発展度合いに差がある

・大和市中心と周辺地域との発展している差をなくし、全体的に活性化させる

魅力的な教育機関が少ないため、若年層が流入しない

・基本的に流入人口増が落ちると若年層の流入増に期待できない
・魅力的な教育機関（学校）が少ないと、若年層の流入が限られる

道路の整備が遅れていて、通学に不便

・通学の不便
・道路の整備が遅れている

結婚への不安がある

大和市の治安が悪い

保育園が少なく、子どもを預けられない

厚木基地による騒音など

人口が減少してもよいのではないか

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

街コンなどを開催し、結婚したい人を増やすとともに、大和市を好きになる人も増やせると良い

・早くに結婚したい意識改革
・街コンを通して、この街を好きになってもらう
・街コンで男女の出会いをバックアップ

交通の便が良い、公園が多いなど子育て環境が充実しているまちになると良い

・交通の便を良くする
・公園を多くつくる

企業を呼び込み、大和市に住み、働く人（正社員）を増やせると良い

・企業を呼び込む
・工業の減少、大きな企業が市外に出ていく
・正社員を増やす
・働く場所をつくる

市営住宅など、若い世帯向けに、子育て・住宅を支援する制度・環境をつくれると良い

・子育て支援の充実
・市営住宅など若い世帯への支援
・安心な子育て環境（治安が良くなる）
・若い世帯への補助金制度

市立保育園を充実させるとともに、市立保育園並みの料金の保育園を整えられると良い

・市立保育園の減少、私立化している
・保育園は公共事業（市が担当者）
・市立保育園の充実
・市立並みの料金の保育園

８グループ　（太字はまとめ、細字は個別意見）

テーマ１　大和市で人口が減っていく原因を出し合おう

経済的な問題などから結婚できる状況ではない

・雇用問題で結婚できない
・結婚できる環境づくり
・結婚に対しての不安

育児環境が良くなく、仕事と子育てを両立できない

・経済的理由（仕事、育休後の復帰）など
・女性が仕事と子育てを両立できない
・働く女性の職場復帰の不安
・万が一のときの子どもの預け先がない
・保育園など子どもを預けられる場所が少ない
・育児環境が良くない

子育てや教育に費用がかかりすぎる

・子育てにかかる費用の不安
・教育費がかかり過ぎて簡単に子どもが産めない

自分の学費を返済しながら子育てできない

テーマ２　人口減少を食い止めるためのキーワードや理想の姿を出し合おう

若者の出会いの場をつくり、結婚につながる機会を増やせると良い

・気軽に本気で出会える場をつくる
・出会いの場をつくる（結婚の機会を増やす）
・若者が集う場を増やす

病児保育を行う保育園を増やし、安心して子育てできる環境をつくれると良い

・病気のときにみてもらえる保育環境（病児保育）

保育園を併設する企業や商業施設を誘致し、仕事も子育てもできるまちをつくれると良い

・企業、商業施設などを増やし、職場と子どもを預けられる場所を増やす
・仕事も子育ても可能なまちづくり

若者や子育て世代に魅力的な環境を整えられると良い

・「若者」「子育て」に魅力的な環境を南部に整える
・子どもが安心して住める治安環境

自然や外国語に触れる機会が多いという大和市のよさを活かせると良い

・大和市のよさ（自然・外国語交流）を活かした環境づくり

地域経済をよくできると良い

赤ちゃんからお年寄りまで健康で自立して暮らせるまちになると良い

・赤ちゃんからお年寄りまで健康で自立するという目標を持つ
・介護予防の場を整えよう

みんなが思いやりと想いやりをもてるまちになると良い

（4）午後の意見交換｜ワークショップ

●進め方

・大和市の人口減少を食い止めるためのキーワードと理想の姿をテーマに、具体的な問題を洗い出し、将来に向けた解決イメージを出し合いました。

・６～７人で１つのテーマについて意見交換をしました。

・整理した課題について、グループ内で投票を行い、重要度を確認しました。

・最後に、課題に対する解決策を短冊に書いてグループごとに発表し、最も大切だと思ったものについて投票を行いました。

グループ①②：「子育て支援をもっと充実させるためには」

グループ③④：「定住できる環境（住居・雇用）や、経済的不安を解消するアイディア」

グループ⑤⑥：「子育てしやすくなるような魅力を見つけ、伝え、UP するアイディア」

グループ⑦⑧：「若者が出会える場や機会をつくろう」

午後の進め方（13:30～16:15）

6～7 人のグループでそれぞれ 1 つのテーマについて意見交換します

1）8つのテーブルに分かれて座ります

名札にお示ししたグループにご着席ください。

2）午前中の議論を振り返ろう

進行役から午前中の議論をまとめて共有します。

3）30 秒自己紹介

プロフィールシート、テーマについて紹介します。

4）テーマの確認

テーマに関する補足や、午前中の議論の中で出たテーマに関する意見を振り返ります。

5）テーマに関する課題を整理しよう

テーマに関して問題だと思うことを一人３～４枚付箋に書き出し、グループの中で同じような意見があれば集約するなど、課題の整理をします。

6）重要な課題から解決アイディアを出しあおう

整理された課題はシール投票で重要度を確認し、重要度の高いものから、将来に向けた解決イメージを出し合いましょう。

7）アイディアをまとめて発表しよう

解決アイディアの中でシートにとりまとめ、発表者を決めて全体でアイディアを共有します。

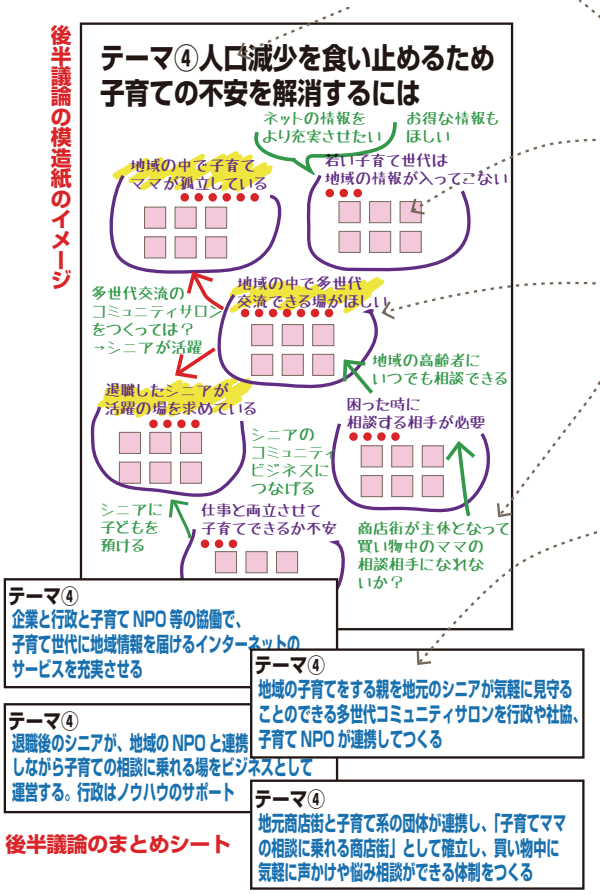
8）会場全体で出てきたアイディアをシール投票

他のグループのアイディアを含めて、大切だと思うアイディアにシール投票をします。

9）まとめ

本日の議論の成果を確認します

後半議論の模造紙のイメージ



後半議論のまとめシート

テーマ④
企業と行政と子育て NPO 等の協働で、子育て世代に地域情報を届けるインターネットのサービスを充実させる

テーマ④
地域の子育てをする親を地元のシニアが気軽に見守ることのできる多世代コミュニティサロンを行政や社協、子育て NPO が連携してつくる

テーマ④
退職後のシニアが、地域の NPO と連携しながら子育ての相談に乗れる場をビジネスとして運営する。行政はノウハウのサポート

テーマ④
地元商店街と子育て系の団体が連携し、「子育てママの相談に乗れる商店街」として確立し、買い物中に気軽に声かけや悩み相談ができる体制をつくる

●流れとまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていただきました。その後、最も共感できるアイディアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号 | 課題 | 解決アイディア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイディアです。

テーマ① 子育て支援環境をもっと充実させるためには

1グループ

課題	解決アイディア
子育て支援に関する情報が不足している	子育て支援情報の発信、入手をスムーズにするためのアプリを開発し、繰り返し発信しよう
緊急時の子どもの預け先など、子育て層の求める支援メニューがない	**すぐやる課、何でも相談室を設置しよう** 子育て層の支援ニーズ把握のために、市民討議会の継続的実施、若者を巻き込んだプロジェクトチームを発足し、取り組もう
日頃、ご近所付き合いなど、地域でのコミュニケーションが不足している	空き家や大きな家を活用して、昔の大家族のようなあたたかみのあるシェアハウスをつくろう
日常でも、子どもを育てる（預かる）環境がない	コミュニティセンターのより一層の充実と活用をしよう～子育て支援の可能性を身近な市の施設で探る～

2グループ

課題	解決アイディア
大和市の子育て施設や支援制度を把握していない市民が多い	**子育て支援に関するホームページを充実させ、「子どもが○歳」と検索すると、受けられる制度や支援などの一覧が出てくるようにしよう**
SNSや掲示板、ゆるキャラを利用した情報発信があるといい	駅やスーパーに電子掲示版を設置して、情報を迅速に更新、PCやスマホを見れない人にも伝わるようにしよう
地域のコミュニティ力を強め、子育てでいざという時に頼れる人がいるとよい	コミュニティセンター主催の親子向けイベントなどで、ネットワークづくりを。子育てする若い家族を地域で支援することについて考えるワークショップを行おう
ママのネットワークを強めてお互い助け合えるようにできないか	互助につなげるため、集える公園を充実させる。やまとんGOで泉の森に行けることをアピールしよう
住宅を取得して年数の経った人に出産お祝金を出し、転出を防げないか	金銭面が不安な若い親が多いので、3人目以降の出産には市からお祝い金の制度があるとよい

テーマ② 定住できる環境（住宅・雇用）や、経済的不安を解消するアイディア

3グループ

課題	解決アイディア
核家族化の進行 地域コミュニティが希薄で支えあえない 家賃が高くて住めない	スープの冷めない距離での多世帯の居住や二世帯住宅・多世帯住宅など、「近居・同居」の大和スタイルをつくろう
子どもの遊び環境が悪化	**楽しく育った思い出のあるまちには将来戻ってきたくなるので、子どもが安全で自由に遊べる環境をつくろう**
収入が少なく定年後の経済的な安定につながらない 高齢になっても自立して安心して住み続けたい	高齢になっても安心して住み続けられる環境づくりにより、家族で一緒に住めるまちになり、税収の確保にもつなげよう
子育てにお金がかかりすぎる 産休後の仕事への復帰、子育てと仕事の両立が課題	北部の保育所の充実や養育費の補助、子育て施策のPRを通じて、市のフォローがあり、安心して子育てできる環境づくりを進めよう
市内の企業が少ないので、雇用の拡大が必要	商店街の空き店舗を活用して、新しいお店を誘致し、身近な雇用を生み出そう

4グループ

課題	解決アイディア
若い人に魅力的な生活環境が不足している 高齢者が子育て世代の相談にのり、手伝える施設や仕組みが必要 高校生も子育てサポートや交流ができるとよい	**若い人に選ばれる生活環境として、高齢者や高校生もボランティアとして子育てのサポートに関わる仕組みをつくる**
住宅を若い人に安く提供できないか	市営住宅に住む若い世代の収入条件を緩和して、若い人たちにとどまってもらえるようにしよう
定住したいと思う魅力は既にある	定住できる魅力的な環境はすでにある！ことをPRしよう
定住に結びつく教育環境の充実が必要	特殊な技術を学べる専門学校を誘致し、学びからまちの雇用につなげよう
魅力あるユニークな企業を誘致し雇用を生み出す工夫が必要	「特区」をつくって、小さくても魅力ある企業を誘致し、「○○のまち大和」でたくさん雇用を生み出そう
出産後も定年後も活躍できるまちにすべき	企業と多様な働き手をマッチングしよう

テーマ③　子育てしやすくなるような魅力を見つけ、伝え、UPするアイディア

5グループ

- 男性による子育てのよさを見える化して発信することが必要
- 子育てしながら働けるまちの環境やイメージづくりが必要
  → 結婚しなくても子どもを持てる、「男性による子育てはかっこいい」ブランドをつくろう

- 国際交流に力を入れて、インターナショナルなイメージを形成
  → **大和の資源を生かして国際交流に力を入れたグローバルな子育てができるまちブランドをつくろう**

- 子どもを産み育てるための意識啓発のイベントの充実が必要
  → コミュニケーションを重視した子どもを産み育てるための意識改革イベントを開催しよう

- 大人も子どもも楽しめる場所がない
  → 泉の森を活用して親子の遊び場を確保しよう

- HP での子育てなどに関する情報発信を充実させ、分かりやすく、他市との比較をしやすくする必要がある
- 大和市独自の取り組みのアピールが足りない
  → 大和市内、市外を問わず、大和市の子育ての魅力を発信するため、既存の HP を直感的に分かるように改善しよう

6グループ

- 医療・福祉・教育の環境が整っている
  → 学校以外でも、「寺子屋」など、様々な子どもの学びの場を選択できる環境をつくろう

6グループ

- ウリになる景色、自然、スポット、イベントがあり、都心へのアクセスのよさがあることを活かせないか
  → バリエーション豊かなまちの資源を、地域にゆかりのある企業とタイアップして、工夫ある PR をしよう！

- 縦に長い特徴や興味深い歴史がある
- 地場の野菜、果物が豊富である
  → 「大和市」の魅力の PR 方法は、色々な方法がありそう！既存の方法以外の工夫に知恵を出そう！

- 公園は点在しているが、もっと魅力的な活用ができないか
- 親子で遊べる場や機会を充実できないか
  → **自然・公園・施設など、「親」と「子」で一緒に遊べる場所を増やそう**

- 災害に強く、移動しやすい平坦な土地
- 歩きやすい安全な移動手段があるといい
  → 「自転車でどこでも行ける」「ベビーカーも移動しやすい」という平坦な地形の便利さを伝えよう！

- 犯罪の少なさ、地価の安さ、活気ある商店街等の魅力を人口増加につなげられるとよい
  → 「子育てがしやすいまち」だと気づこう！住民自身が口コミで PR しよう！

テーマ④　若者が出会える場や機会をつくろう

7グループ

- 面と向かわずとも会話できるツールがある
- ゲームなど、一人で遊ぶ娯楽が多い
  → 色んな人、世代が会って語り合える交流の場をつくっていこう

- 個人情報が扱えず、世話焼きができない
  → **「大和でずっと住み、働き、学ぶ！」をスローガンに、大和市で結婚相談センターや相談員を設置しよう**
- 人と積極的に触れ合わない
  → 大和市が行っている様々な取り組みをまとめ、情報発信していこう

- 勉強や日々の生活の忙しさから、友人とのコミュニケーション力が低くなる
- 恋愛の楽しさを知る機会がない
  → 地域のイベントに積極的に参加し、出会いを増やせるよう、色んな世代が主体的に関われる環境づくりをしよう

- 学生は男子は弱体化し、女子は自信ありな人が多い！
- 結婚相手や恋愛相手の理想が高くなる情報が溢れている
  → 恋愛や結婚の大切さを知ってもらう機会を学校教育に取り入れよう

- 会社でのコミュニケーションが少ない
  → コミュニケーションが円滑でない中小企業に対して、大和市が出会いの場や育児支援を促そう

8グループ

- 若者向けのイベントが少ない
  → 小さいころから社会人まで繋がっている学校だけにとどまらないコミュニケーションの場を増やす。スポーツ、音楽など文化活動、ボランティア、防災活動。

- 若い人が集えるところが少ない
  → 若者が気軽に集えるスポーツ施設や文化センターなどの場を作り、若者主体を行政・企業・市民が支える仕組みで運営する

- （地元に）魅力を感じられない
  → 大和市への愛着を向上させるべく地元タレントなどを企画し、ファン同士の交流などを仕掛ける

- 学生は勉強や部活で忙しくて時間が無い
  → **若者の企画を実現できるイベントを学校行事に組み込むなど時間が無くても参加しやすい形で行う**

●詳細結果

（◉：グループワークの中で各参加者が最も大切にしたいこととしてシール投票したもの、○：グループワークの中で各参加者が大切にしたいこととしてシール投票したもの）

■グループ１　子育て支援環境をもっと充実させるためには

●議論の流れ

・現在の大和市の子育て支援環境は、ある程度充実しているようだという前提のもと、グループで話し合いが進んだ。ただ、子育て層が求めている支援と、実際の市からの支援内容の差があり、せっかく支援策があっても効果が低く、もったいないとの指摘があった。

・そのなかで、特に「緊急時の支援体制」について子育て層が求めている支援内容と、行政からの支援内容に差があること、また、せっかく体制があっても「支援内容の情報が不足している、周知されていない」との意見が出され、共有している。

・　「情報の不足」の対策としては、市が情報発信に積極的に取り組むことも大切ではあるが、そもそも子育て層が「日常から地域でのコミュニケーションが不足している」ことにり情報が不足していたり、「市の情報発信方法のあり方」が、子育て層にとって入手しにくかったり、わかりにくいのではないかという意見もあった。

・　「日常における支援体制」では、子育て支援体制の充実だけではなく、「子どもを産める環境が整っていない」ことや、子育てがひと段落した「就学する歳になってからの支援体制ー小学生～中学生～高校生の遊び場や集まる場がないー」ということも話し合われた。

・　以上、出された課題からの解決アイディアとして、「支援内容の情報不足」については、①市の広報や保育園等の広報・お知らせで緊急時に預かってくれる施設等、本当に必要な情報を繰り返し発信しつづけること。②親の大変さや思いがわかる、若者世代（高校生～大学生）が、親のニーズを聴き出し、スマートフォンのアプリなどを開発して、いつでもどこでも情報が入るような仕組みをつくること。また、③とにかく子育てに関する心配ごとを横断的に何でも相談できる、子育て何でも相談室を市や NPO が連携して設置すること。などの提案がされた。

・　また、「緊急時の支援体制」と「支援内容の情報不足」について、子育て層の求めている支援と行政の支援内容との差があることについての解決策は、「本当に必要な子育て層のニーズをどのように集約し、どこで取組むのか」について検討された。その結果、今回の市民討議会を、若者を交えて継続的に実施し、必要に応じてプロジェクトチームを発足して、具体的な課題解決に向けて取組みたいという意見もあった。

・　また、「日常における支援体制」については、身近な市の施設であるコミュニティセンターにおいて、NPO 等と連携して、子育て支援の可能性を探ることや、空き家活用や大きな家の一間を借りるなどして、昔の大家族のような生活ができるシェアハウスをつくるのもよいのではないかという提案があった。

・　その他、市は、第３子目は中学校卒業まで経済的な支援をする、などの提案もされている。

課題（論点・個別意見）		解決アイディア（短冊・個別意見）
例	**課題（◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）** ・個別意見	**解決アイディア（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）** ・個別意見 （以下、同様）
1	**子育て支援に関する情報が不足している（◉2人○3人）** 〔意見の付箋〕 ・特に子どもを預かってくれる施設情報が少ない。保育園には周知されていない。 ・その中でも緊急時の情報が必要。乳幼児、障がい児は急に体調を壊すので、すぐに対応してくれる施設を知りたい。 ・施設があっても手続きが面倒。手続きが大変で時間がかかるため、緊急時はまず使えない。 ・情報は知っている人は知っているが、子育て層全体に伝わっていない。⇒広報誌に出ていても、わかりにくい。	**子育て支援情報の発信、入手をスムーズにするためのアプリ開発し、繰り返し発信しよう（シール投票数2票）** ・忙しい親が市役所や施設に行かなくても簡単に入手（スマホから入手）できる、アプリケーション開発をする。 ・若者（高校生・大学生）等、民の力を借りて本当に困っている情報を把握する。 ・市や保育園との連携もはかり、市は責任をもって広報誌等で子育て支援情報の発信を継続的に実施する（広報誌の見やすさは検討）。 ・市のホームページや、フェイスブック上で、民間が実施している支援情報も含めて発信する。
2	**緊急時に子どもたちを預かってもらえない。子育て層が本当に求める支援メニューではない。（◉2人○2人）** 〔意見の付箋〕 ・緊急時でも手続きが何段階も必要となり、ハードルが高い。せめて緊急時は手続きをスムーズにしてほしい。 ・子どもの病気だけでなく、家族が急な病気になった際に、子どもを預かってくれる施設がない。一人親にはつらい状況。	**すぐやる課、何でも相談室を設置しよう（シール投票数6票）** ・スマホが苦手な親世代もいるため、アプリ開発だけでなく、市やNPOと連携をとって、気軽に相談したり、情報交換、情報入手ができる場をつくる。 **子育て層の支援ニーズ把握のために、市民討議会の継続的実施、若者を巻き込んだプロジェクトチームを発足し、取り組もう（シール投票数2票）** ・忙しい親が市役所や施設に行かなくても簡単に入手（スマホから入手）できる、アプリケーション開発をプロジェクトチームを発足して開発する。
3	**日頃、ご近所付き合いなど、地域でのコミュニケーションが不足している（◉1人○1人）** 〔意見の付箋〕 ・今後、子ども会の存続も危ういし、既に機能していない地域もあるようだ。 ・少子高齢化に伴い、孤立化しているママ（親）も多い。相談したい時に行政ではハードルが高い。 ・地域のつながり、コミュニティが希薄化している。 ・子どもだけでなく、親もLINE外しなどのいじめが普通に存在する時代である。	**空き家や大きな家を活用して、昔の大家族のようなあたたかみのあるシェアハウスをつくろう（シール投票数5票）** ・子育て支援になり、コミュニケーション不足の解消にもなる。 ・大きな家で一人暮らしをされている年配の方に働きかけ、一部屋借りるなどからスタートしてもよい。 ・空き家問題の解決にもなるし、大きな家で一人暮らしをされている年配の方も、子どもが身近にいることで元気になるのではないか。
4	**日常でも、子どもを育てる（預かる）環境がない（○3人）** 〔意見の付箋〕 ・一時保育施設が少ない。特に、一人親などは、経済面で負担が大きく、不安である。（ファミリーサポートは、900円/時間+交通費は、高い）。 ・昔は、大家族が多く、誰かしらの目が届き、助け合って子どもを育てることができたが、今は難しくなっている。ご近所付き合いもなくなった。	**コミュニティセンターのより一層の充実と活用をしよう　～子育て支援の可能性を身近な市の施設で探る～** ・地域は県の施設よりも市の施設に親しみを持つ。特にコミュニティセンターは、各地域で身近な存在である。 ・市の施設であるコミュニティセンターを活用し、市とNPO等の民の力で、本当に必要な子育て支援（日常における一時預かり、緊急時の預かりなど）に取り組む。⇒近くなので、子どもを預けやすい。

	・あるコミュニティセンターではゲームが禁止となった。子どもが遊べる場が減っている。	・ファミリーサポートより安く、ワンコインシリーズにしたい。 ・日常の一時預かりを身近な場所でできれば、社会復帰をしたいと思っているママさんのきっかけにもなる。また、経済的負担も軽減できる。 ・市と連携して、子育て支援講座等も実施。 ・地域のニーズに合った、サービス・支援を考える。施設外からも支援内容がわかるサイン計画があるとよい。
5	**子どもを産める環境ではない（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・社会情勢や将来のこと（経済的不安）を考えて、子どもを２人以上持ちたいと思わなくなっている。	・市は、第３子目から、中学校卒業まで何らかの経済的な支援をする。（できるだけきめ細かく、多い支援をする）

●作業シート

■グループ２　子育て支援環境をもっと充実させるには

●議論の流れ

・ 午前のワークショップの振り返りや、配布資料の「年齢ステージ別子育てサービス情報」の確認から、大和市は県内他市町村との比較では子育て支援策が充実しているのではないかという確認がされた。

・ しかし市民の中で「大和市は子育て支援が充実しているよね」という共通認識は無く、市民がもっと大和市の子育て施設や制度を把握するべきという課題に対してどうしたら良いか、アイディアが出された。

・ 子育て支援に関する情報提供の充実という点で、子どもの年齢を入れて検索することで、受けられる制度や支援などの一覧が出てくる、駅やスーパー等人通りの多い場所に電子掲示板を設置する、twitter や facebook で情報発信する、子育て支援アプリでお知らせやイベントがあると通知が来るようにするなど、情報の受け手側が自分にとって必要な情報を得やすく、また若い子育て世代が情報を受け取りやすくなるためのアイディアが多く出された。

・ 子どもを（さらに）産み育てるということに一歩踏み出すにあたり、子育てを支援し、いざという時に頼れる人がまわりにいるかどうかが重要な視点ではないかという課題が出された。

・ 地域コミュニティにおける支援として、コミュニティセンター主催の親子向けイベントを催しネットワークづくりをする、子育て家族を地域で支えることについて考えるワークショップを催す、リタイア世代の子ども好きの方々で子どもの預かりの場をつくる、などのアイディアが出された。また、ママさん同士が助け合える関係をつくるため、「泉の森」を親子で集える公園とし、車が無くてもコミュニティバス「やまとんＧＯ」で行けるということをもっとアピールしてはどうかという意見が出された。さらに祖父母の力を借りることに対し、二世代家族向けのマンションを誘致するというアイディアも出された。

・ 若い世代の子育てに対する金銭面の不安を低減し、多産を推奨するようなムーブメントを起こせないかという課題に対し、３人目以降の出産には市からお祝金を出す制度を設けてはどうかというアイディアが出された。また、大和市内に住宅を取得した世帯に対して出産お祝金を出すことで、若い世代の定住促進につながるのではないかという意見も出された。

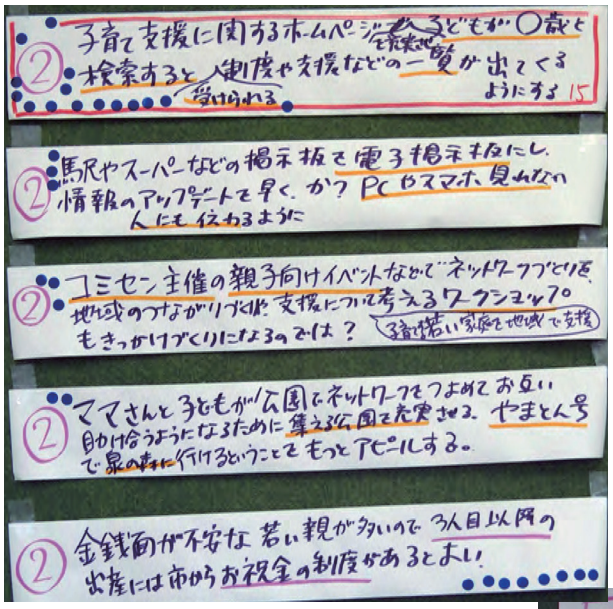
・ その他、働くママにとっては職場復帰のために０歳児保育の充実が鍵であり、現在いる待機児童をゼロにすべきとの意見が出された。

	課題（論点・個別意見） （◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○２番目、３番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1	**大和市の子育て施設や支援制度を把握していない市民が多い（◉２人、○２人）** 〔意見の付箋〕 ・支援や制度を知らず、出産を諦めている人もいる。 ・施設、援助の現状を確認する ・中学校卒業までの給食や医療助成などをもっと PR する ・子育て関係の HP を充実させる ・子育て支援アプリなどで、お知らせやイベントなどがあると通知が来るようにする	**子育て支援に関するホームページを充実させ、「子どもが○歳」と検索すると、受けられる制度や支援などの一覧が出てくるようにしよう（シール投票数１５票）** ・子育て支援制度や施設をまとめて載せる ・子どもが○歳ならこういう支援が受けられる、という一覧が欲しい

2	**SNSや掲示板、ゆるキャラを利用した情報発信があるといい** 〔意見の付箋〕 ・twitterやfacebookで情報発信 ・座間市ではざまりんがtwitterで発信していて、きちんとコメントになっていてスパムっぽくないのがいい ・大和市でもヤマトンが発信しては？	**駅やスーパーに電子掲示板を設置して、情報を迅速に更新、PCやスマホを見れない人にも伝わるようにしよう（シール投票数３票）** ・PCを見れない人向けに掲示板を（電子掲示板などがアップデートしやすい）
3	**子育て家族を支援する、地域のコミュニティ力を強め、いざという時に頼れる人がまわりにいると良よい（◉１人）** 〔意見の付箋〕 ・地域のコミュニティの強化 ・若い家族を支援する中高年家族が複数となるように配置 ・地域コミュニティは、長期的に見て重要な視点。子どもを産み育てることに対して一歩を踏み出す力に	**コミセン主催の親子向けイベントなどで、ネットワークづくりを。地域のつながりづくり、子育てする若い家族を地域で支援することについて考えるワークショップを行おう（シール投票数３票）** ・コミセンを核にして、町内会などでそういう体制がつくれないか ・子育てサロンはやっている ・コミセン主催のイベントを行い、親子やいろんな人のネットワークづくりを ・地域のつながりづくりや支援について考えるワークショップを開催し、きっかけづくりに
	リタイア世代の子ども好きの方々で子どもの預かりの場ができると良い 〔意見の付箋〕 ・リタイア世代の子ども好きの方を募って、簡易保育園のような場をつくる（○１人） ・現在、リタイア世代の方々に下校時の交通安全の見守りを手伝ってもらっている（働くママにはとても負担）	
	親と同居できる二世代家族向けのマンションが増えると良い（誘致） 〔意見の付箋〕 ・二世代住宅向けのマンション ・同居することで祖父母に子育ての支援をしてもらう	
4	**ママのネットワークを強めてお互い助け合えるようにできないか（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・親子で行ける公園を増やす	**ママさんと子どもが公園でネットワークを強めてお互い助け合うようになるために、集える公園を充実させる。やまとん号で泉の森に行ける、ということをもっとアピールしよう（シール投票数２票）**
	やまとんGOで泉の森に行けることをアピールして、お母さんたちに利用してもらうようにする（○３人）	
5	**子どもをもっと産みたいが、金銭面が不安。３人目以降の出産には市からお祝い金が出せるといい（◉１人、○１人）** 〔意見の付箋〕 ・逆一人っ子政策 ・多産を推奨するようなムーブメントを ・３人目の出産で、市からお祝い金などの制度があるとよい	**金銭面が不安な若い親が多いので、３人目以降の出産には市からお祝い金の制度があるとよい（シール投票数８票）**
6	**住宅を取得して年数の経った人に出産お祝い金を出すことで、転出を防げないか（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・大和市在住１０年、２０年以上、大和市に住宅取得して数年経った人が出産した時に、お祝い金を出す制度を考える	

7	**共働き世帯や働くママの負担が大きい** 〔意見の付箋〕 ・市や県立の児童預かり施設を増やす ・０歳児保育が増えれば働くママが仕事に復帰しやすくなる（◎１人、○１人） ・０歳児保育が壁となり、２人目、３人目を諦める人もいる ・現在は待機児童がいるが、ゼロにする	・公立保育園を充実させる

●作業シート



■グループ３

定住できる環境（住宅・雇用）や、経済的不安を解消するアイディア

●議論の流れ

・ 居住の安定に関しては、核家族化が進み、コミュニティが希薄になっていることや家賃が高く、結婚して親元を離れる際、大和市に住み続けられないという課題が挙げられた。これらの課題に対し、二世帯住宅や多世帯住宅での同居やスープの冷めない距離での近居により、家族やコミュニティが適度な距離感で支えあって暮らせる大和らしい居住のスタイルを築きたいというアイディアが出された。

・ また、コミュニティの希薄化だけでなく、交通量の増加や犯罪への危機感の増加などにより、子どもを安心して遊ばせられる環境が無くなっているという課題も挙げられた。これに対しては、楽しく過ごした幼少期の経験のあるまちには、将来戻ってきたくなるものであり、そのためにも子どもが安心して遊べる環境づくりが大切であるというアイディアが出された。

・ 高齢になっても安心して暮らせる環境があることが、子育て世代も含めた定住の促進につながるという意見も出された。高齢になっても働ける環境づくりは生きがいや健康の維持にもつながり重要である。シニアビジネスの創出が求められており、ビジネスの内容が子育て支援であれば多世代交流にもつながる。多世代が住み続けられることにより、前述の家族やコミュニティで支えあう環境をつくることもでき、人口の維持により、税収の維持にもつながるというアイディアが出された。

・ 雇用や経済的安定に関しては、子育てにかかるお金が大きいことや産後の職場復帰、子育てと仕事の両立が大変であるという課題が出された。北部地域で不足している保育所の充実や市が力を入れている子育て施策をもっとPRすることにより、行政のサポートがあり安心して子育てできる環境を実現するというアイディアが出された。一方で、助成金などは不公平がないように支出すべきという意見や必要なところに効果的に使うべきという意見も出された。

・ 身近な市内の雇用が少ないことや非正規社員では生活が安定しないという課題に関しては、市内に展開している商業モールなどのサービス業では正規社員の雇用は難しいという現状も話された。今後、商店街では空き店舗が増えることも考えられるが、これらの未利用ストックを活かし、新しいお店を誘致することにより、身近な雇用を生み出していこうというアイディアが出された。身近な雇用の機会は、子育て中の世帯や高齢者の雇用の創出につながる。

	課題（論点・個別意見） （◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1	**核家族化が進んでいる** 〔意見の付箋〕 ・核家族化が進んでいる	**核家族化が進んでいることや家賃が高くて住めないという課題に対し、スープの冷めない距離での多世帯の居住や二世帯住宅・多世帯住宅など、「近居・同居」の大和スタイルをつくろう（シール投票数1票）**
	隣家のこともわからず、地域コミュニティが希薄になっていて、支えあえない状況（○3人） 〔意見の付箋〕 ・戸建ての減少、マンションの増加（市内での地域差がある） ・隣の家のことがわからない家庭が増えている	
	家賃が高くて住めない（◉1人、○1人） 〔意見の付箋〕 ・家賃が高く、広い家に住めない ・住宅を高層化して、家賃を下げる（特に公共性の高いものについて） ・中心部に人が集まってしまうので、周辺地域も開発して定住化を図る	
2	**子どもの遊び環境が悪化** 〔意見の付箋〕 ・子どもが遊ぶのに、車や犯罪など危険が多い	**楽しく育った思い出のあるまちには将来戻ってきたくなるので、子どもが安全で自由に遊べる環境をつくろう（シール投票数12票）** ・自分が楽しく育ったまちには、将来戻ってきたくなる
3	**収入が少ないと定年後の経済的な安定につながらない（○1人）** 〔意見の付箋〕 ・定年後に生活できるくらいの収入が得られる仕事に就けるだろうか	**高齢になっても安心して住み続けられる環境づくりにより、家族で一緒に住めるまちになり、税収の確保にもつなげよう（シール投票数3票）** ・働いて健康維持 ・シニアビジネスの創出 ・子育て支援ビジネスも生まれるとよい
	高齢になっても自立して安心して住み続けられるようにしてほしい 〔意見の付箋〕 ・老人に対して住み続けたいと思える人的な優しさはあるだろうか ・意識の問題だと思うが、共生の意識が大切	

4	**子育てにお金がかかりすぎるので、安心して子育てできない（◉1人、○2人）** 〔意見の付箋〕 ・子育てにお金がかかりすぎる ・養育費にとてもお金がかかっているので、市のフォローなどがないと子どもを産まない選択をする人が増えている。 ・養育費がとてもかかってしまうため、シングルマザー、ファザーにとって私立の教育機関では出費が激しく、市立の教育機関をつくったり、市がフォローする必要がある ・市立保育所、幼稚園の数が少なく、私立が多くなってきているため、子どもが一人通うだけでもお金がかかってしまう	**北部の保育所の充実や子育て施策のPRを通じて、市のフォローがあり、安心して子育てできる環境づくりを進めよう** ・助成金などは不公平感のないように ・必要なところに効果的に
	産休後の仕事への復帰や、子育てと仕事の両立が課題（○1人） 〔意見の付箋〕 ・産休などで職を休んだ際に、産休後に無事職場に復帰できるか不安だという人が多い ・男女機会均等法の定着による作業の重要性が高くなり、出生率の低下はやむを得ない面もある	
5	**市内の企業が少ないので、雇用の拡大が必要（◉3人）** 〔意見の付箋〕 ・安定性の高い企業の誘致 ・市内に働きたい会社がない ・非正規社員、アルバイトなどで働き、収入の少ない人が多い（◉1人）	**商店街の空き店舗を活用して、新しいお店を誘致し、身近な雇用を生み出そう（シール投票数1票）**
	ショッピングモールが出来て生活しやすい	

●作業シート

核家族化や家賃が高い課題に対し、
・スープのさめない距離や二世帯住宅など「近居・同居」の大和スタイルをつくる　3

子どもが安全で自由に遊べる環境づくり ↔ 車が多い、犯罪…　3
→自分が楽しく育ったまちだから戻ってきたくなる　12

高齢になっても安心して住み続けられる環境づくりが　3
働いて健康維持　家族で一緒に住めたり、税収の確保につながる
シニアのビジネスの創出 → 子育て支援ビジネスも生まれると良い

北部の保育所の統廃や子育て施策のPR → 市のブランドがあり　3
補助金などは不公平感のないように！　安心して子育てできる環境づくり
必要なところに効果的に！

商店街の空き店舗を活用し、新しいお店を誘致　3
→身近な雇用を生み出す

■グループ４

定住できる環境（住宅・雇用）や、経済的不安を解消するアイディア

●議論の流れ

・ 経済的不安を解消するため、共働きを希望しても、女性は子育てで職を離れると再開が難しいという課題があげられた。この解決方法として、地域に生活ステージに合った働き方のできる職場を設けることがあげられた。既存のビルなどまちのストックを活用できる中小企業を誘致したり、魅力のあるユニークな会社を積極的に誘致して「○○のまち、大和」というような特色のある雇用機会をつくっていくことが良いという意見が出された。

・ 子育て世代の経済的不安を解消するためには、企業の求人を待つだけでなく、いろいろな働き方を提案し、発掘していくような取組も大切だという意見が出された。企業とお母さんをマッチングする制度をつくったり、夜は学生、昼間は主婦で一つの仕事をシェアするような仕組みをつくり、雇用を生み出す工夫ができるといいのではないか。またパートタイムから段階的に雇用形態を変えていくことができる自由度があるといいという意見が出された。

・ 若い人に魅力的な生活環境が少ないという課題が出された。この対策として、新しく建設される図書館や生涯学習機能が備わった施設の周りに、高校生が、勉強や遊び以外でも集まれるような場所ができるといい。また、パチンコや大人向けのお店をこれ以上増やさない仕組みをつくることも環境づくりの一つではないかという意見が出された。市内の一部では高齢化が進み、高齢者のまちというイメージがあるので、こうしたイメージの改善が必要だという意見も出された。

・ 子育て世代が周りに頼る人が少なく孤独になりやすいという問題意識から、子どもの一時預かり施設や高齢者の医療・介護の一次施設を活用して地域の人が集まり協力し合えるような住居や施設を作り、子育てについてはもちろん、医療や介護についても悩みを相談できる取組についてアイディアが出された。さらに、高齢者や高校生もそうした場所での子育てのサポートや交流に関わることで、安心して子育てできる環境をつくっていくことができるのではないかという意見が出された。

・ 大和市で育った若い世代が大人になると、安い住宅を求め市外に転居することが多いという課題が出された。対策の一つとして、市営住宅を若い世代に安く貸し、収入条件を緩和して、収入が少し上がっても住み続けられるようにし、長くとどまってもらえる方法を考える必要があるという意見が出された。

・ 定住するまちの魅力があるのに、それが伝わっていないのではないかという課題が出された。対策としては、既にある定住の魅力（都市部へのアクセスが良いこと、多様なお祭りがいろいろな地域で行われていること、外国人が多く交流から学ぶ機会がたくさんあること、自然が豊かであること）を掘り起こし伝えていくと良いという意見が出された。

・ 定住の一つのスタイルとして、学生時代に暮らしたまちに愛着を持ち、住み続ける例について意見が出された。学びの場から就職、定住の場になるような流れを作る方法として、例えば、特殊な技術を学ぶ専門学校を誘致し、関連する企業が雇用を生み出すなど、学びから雇用につながる環境づくりについて意見が出された。

・ 子育てにはお金がかかるという課題に対して、子どもにかかる費用を何らかの形で補助をしたり、結婚や出産をすると得になるような制度があるといいという意見が出された。

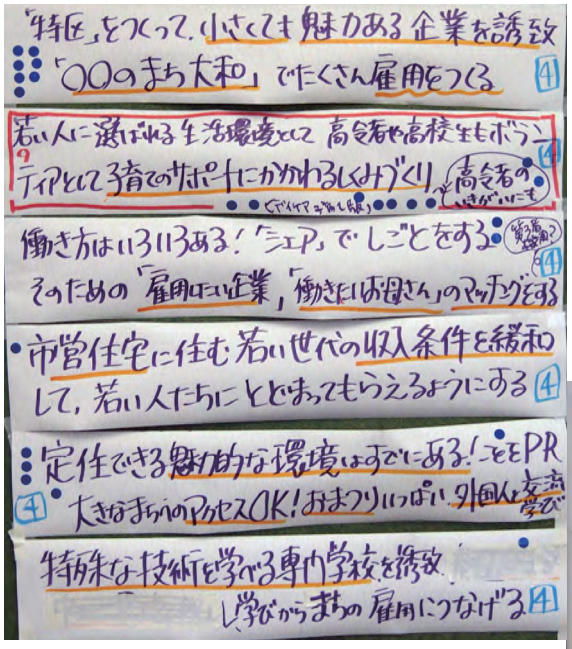
・定住先を選ぶには、生きがいをもって暮らし続けられる街であることも魅力の一つと考えられる。定年後も自分のキャリアを生かして仕事やボランティアで活躍したり、高齢でも不安なく生活できたりする環境を提供することが大切だという意見が出された。

	課題（論点・個別意見） （◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1	**若い人に魅力的な生活環境が不足している（○3人）** 〔意見の付箋〕 ・若い人に魅力的な生活環境をつくる ・新しい施設（図書館、生涯学習ができるなど）の周りに飲食できる場所や若者が行ける場所をつくる ・不良でもなく、勉強でもなく、高校生たちが集まれる場所 ・良い環境をつくる選択肢も必要。パチンコ店や大人向けのお店を今より減らすようにする、もう増やさないようにする	**若い人に選ばれる生活環境として、高齢者や高校生もボランティアとして子育てのサポートに関わる仕組みをつくる（シール投票数9票）** ・デイケア子育て版 ・高齢者の生きがいづくり、高校生の活躍の場にもなる
	高齢者が子育て世代の相談にのったり、手伝いができる施設や、仕組みをつくるとよい 〔意見の付箋〕 ・高齢者と若い世帯が協力できる住居、施設の充実 ・子どもの一時預かり施設や、医療・介護の一時施設に地域の人が集まって不安を解消できる	
	高校生も子育てサポートや交流ができるとよい 〔意見の付箋〕 ・小学生に高校生からスマホの使い方を教える	
	子どもが成長すると大和市を出ていってしまう 〔意見の付箋〕 ・進学した学校によって、仕事によって住む場所が変わってしまう ・子どもが親離れして、市外に行ってしまう	
	場所により、お年寄りのまちのイメージがある 〔意見の付箋〕 ・「お年寄りのまち」のイメージがあると、若い人が住まいに選ばない ・少子化、高齢化 ・過疎化になると経済が悪化する	
2	**市営住宅を若い人に安く提供できるとよい** 〔意見の付箋〕 ・若い世代に市営住宅を格安で提供	**市営住宅に住む若い世代の収入条件を緩和して、若い人たちにとどまってもらえるようにしよう（シール投票数1票）**

3	**定住したいと思う魅力を発信できていない** 〔意見の付箋〕 ・大きなまち（渋谷、新宿、横浜など）へのアクセスがいい ・お祭りがたくさんあり、お祭り好きにはもってこいなまちであることを PR する ・外国人との交流ができるまち。交流から外国語を勉強することもできる。 ・豊かな自然環境があり、魅力的な住環境といえる	**定住できる魅力的な環境はすでにある！ことを PR しよう（シール投票数５票）** ・大きな街へのアクセス OK ・お祭りいっぱい ・外国人との交流や学び
4	**定住に結びつく教育環境の充実が必要（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・保育園～高校の教育環境の充実が図られているか ・魅力的な中高一貫校を PR する ・大学をつくるにはスペースが不足している ・義務教育は学校がきちんと面倒を見る（塾に入らなくてもいいくらいに）	**特殊な技術を学べる専門学校を誘致し、学びからまちの雇用につなげよう（シール投票数１票）** 〔意見の付箋〕 ・学びから雇用に結びつくような、特殊な技術を学ぶ専門学校を誘致する ・教育環境の整備や企業誘致を積極的にする
5	**魅力あるユニークな企業を誘致し、雇用を生み出すことが大切（◉１人、○３人）** 〔意見の付箋〕 ・「○○のまち」特色あるまちの雇用をつくる ・将来性のある中小個人企業（魅力あるユニークなものなど）の誘致 ・製造業だけでない業種	**「特区」をつくって、小さくても魅力ある企業を誘致して、「○○のまち大和」でたくさん雇用を生み出そう（シール投票数７票）** 〔意見の付箋〕 ・雇用の機会が小さくたくさんできるように、小規模で、これから伸びる産業を誘致する ・「特区」をつくって企業を集める ・積極的に誘致するターゲットを絞り、インセンティブを与える
6	**お母さんになっても働ける機会の提供が必要（○２人）** 〔意見の付箋〕 ・結婚後もパートタイムでも働ける仕事の機会、情報の提供が図られているか ・お母さんになっても再就職ができるといい **学生（夜）×主婦（昼）で仕事をシェアするとよいのではないか** ・学生は夜や長期休みに、主婦は昼間に仕事ができることから、組み合わせてフルタイム的に仕事をこなすことができるのではないか ・シェアの仕事をつくるにはコーディネートが必要	**働き方はいろいろある！「シェア」で仕事をする。そのため「雇用したい企業」と「働きたいお母さん」をマッチングしよう（シール投票数２票）** ・ハローワークや就職雑誌等があるが、安心してできる仕事を紹介する仕組みがあるといい。第三者機関などが担うのがよい ・仕事だけでなく、ボランティア情報も提供できるとよい
7	**定年後も活躍できるまちになることが大切** 〔意見の付箋〕 ・一人暮らし、高齢になっても不安のないまちに ・定年退職後も自分のキャリアを活かして仕事やボランティアができる環境の提供ができるか	
8	**子どもにかかる費用の補助がもっとあればいい（◉３人）** 〔意見の付箋〕 ・子どもにかかる費用を何らかの形で補助できれば少し安心 ・子どもが多い人に、医療費の補助をするなど	

9	**結婚しても経済的に大変にならない支援が必要（◉1人、○1人）** 〔意見の付箋〕 ・配偶者や扶養者を持つことで支援などがあり、結婚した方が得になる	
10	**定住の街として、選んでもらえる優遇策があるといい** 〔意見の付箋〕 ・市内に長期間住んだ人に税金減額など補助をする ・収入減となった人に医療費補助が十分手当てされているか	

●作業シート



■グループ5

子育てしやすくなるような魅力を見つけ、伝え、UPするアイディア

●議論の流れ

・ 子育てしたくなるような魅力を見つけ、伝え、UPするアイディアとして、最も意見が多く出されたのは、「子どもを産み育てるための意識啓発イベントの充実」であった。現在行われているイベントの多くは若者を対象にしていないため、既存のイベントを中心としながら、子育て世帯や若者を対象とするように改善することを前提として話し合われた。

・ 具体的には、阿波踊りのような伝統的に続けられているイベントを、広報や空間演出の工夫により若い人にとって楽しめるものとする、屋台等を食べ歩きできるような工夫をする、学校教育と組み合わせる、コミュニケーションを重視して意識啓発につなげるといったアイディアが出された。

・ また、イベントの開催だけでなく「ブランドづくり」という視点からは、「男性が子育てするとかっこいい」というブランドをつくるというアイディアも出された。ブランドづくりの進め方として、「若いお父さんが子どもと遊んでいる姿はキラキラして見える」や「入口はファッション誌のような気軽なものとする」との意見から、イクメンスナップ写真集やポスターの作成、「母子」でなく「親子」手帳の発行といったユニバーサルなグッズの展開、結婚していなくても子どもが持てるといったムーブメントづくりなどのアイディアが出された。

・ さらに、ブランドづくりの視点として、現在ある厚木基地を地域資源として捉え、グローバルな教育ができるまちとして売り出すとよいというアイディアも出された。具体的には、小さな子どものうちから外国の文化に触れる機会づくりとして、一緒に勉強できる機会の創出や、スポーツの国際試合の実施などのアイディアが出された。

・ 他にも、子どもの遊び場づくりとして、泉の森を活用して大人も子どもも楽しめる遊び場をつくるアイディアや、様々な大和市の子育てに関する取り組みや、大和市で子育てするメリットを、ホームページを改善した上で発信するといったアイディアが出された。

課題（論点・個別意見） （◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）		解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1	**男性が子育てすることの良さを見える化して発信することが大切（◉1人、○2人）** 〔意見の付箋〕 ・男性が子育てする良さをアピール	**結婚しなくても子どもを持てる、「男性が子育てするとかっこいい」ブランドをつくろう（シール投票数1票）** ・イクメン写真集の作成、ムーブメントづくりのポスターの発行 ・入口はファッションなどの受け入れられやすいものにしてファンを増やす ・「母子」手帳でなく「親子」手帳を発行する ・ブランドづくりに寄与するおしゃれなグッズをたくさんつくる
	子育てしながら働けるまちの環境やイメージづくりが必要 〔意見の付箋〕 ・大きな企業を呼び、職場を多くする	

2	**国際交流に力を入れて、インターナショナルな社会への対応やイメージ形成が必要（○２人）** 〔意見の付箋〕 ・国際交流に力を入れる。厚木基地、大和市内にインターナショナルなイメージづくり ・これからのグローバル化に対応できるまちの資源を活かす	**大和の資源を生かして国際交流に力を入れたグローバルな子育てができるまちブランドをつくろう（シール投票数１３票）** ・小さいうちから一緒に体験できる場づくり ・海外の子どもと一緒に勉強できる仕組みを構築し、小さな子どものうちから他国の文化に触れる機会をつくる ・ベースキャンプに広大な土地がある利点を最大限活かし、スポーツの国際試合を実施する
3	**子どもを産み育てるための意識啓発のイベントの充実が必要（◉５人）** 〔意見の付箋〕 ・マルシェや自治会のお祭りは知名度も上がってきている ・子どもを産むことに関する講演、啓発イベントを多発 ・阿波踊りなど大きなイベントを行い大和の PR ・イベントなどをもっとアピールする ・オリンピックを利用した親子イベント	**コミュニケーションを重視した子どもを産み育てるための意識改革イベントを開催しよう（シール投票数２票）** ・「既存のイベント×親子のテーマ」、「既存のイベント×若者のテーマ」でのイベントを開催する ・子どもたちに命や生涯学習について考えさせる機会を設ける ・若い人が楽しめるような広報や空間演出、屋台等での食べ歩きをできるようにすることが大切
4	**大人も子どもも楽しめる場所がない（○６人）** 〔意見の付箋〕 ・子どもの遊ぶ場所が少ない ・朝、昼、夜に散歩、ウォーキングできるコースの設置など、昼夜問わず利用できるようにする ・公園、図書館、スポーツイベントができると良い	**泉の森を活用して親子の遊び場を確保しよう（シール投票数３票）** ・大人と子どもが楽しめるテーマパークを泉の森に！ ・安全性を確保しながら地域の人が運営する ・屋外での遊びができるイベント等を開催する
5	**HP による子育てなどに関する情報発信を充実させ、他市との比較などで分かりやすく改善する必要がある（○２人）** 〔意見の付箋〕 ・HP をもっと分かりやすくする ・子育て支援の助成、施設など市のホームページ、例えば子育てしやすいランキングなど ・大和市外から移住してくる人、大和市内に住んでいる人両方に分かりやすいものが必要 **大和市独自の取り組みのアピールが足りない** 〔意見の付箋〕 ・不育症治療費等への助成などをもっとアピールする	**大和市内、市外を問わず、大和市の子育ての魅力を発信するため、既存の HP を直感的に分かるように改善する（シール投票数５票）**
6	**通学路の治安向上など、歩いて楽しめる安心感のあるまちにすることが大切** 〔意見の付箋〕 ・治安向上、街灯、街並みの景観づくり ・通学路の充実 ・小学校が遠すぎる ・児童クラブの増設、補助	
7	**市立保育園の数が減少することで、保育料が高くなって子育てしづらい** ［意見の付箋］ ・市立保育園の減少、私立化している	

●作業シート

結婚しなくても子どもを持てる、男性が子育てするとかっこいいブランドをつくろう（イクメン写真集の発行、親子手帳づくり） 5G
大和の資源を活かして国際交流に力を入れたグローバルな子育てができるまちのブランドづくり（小さいうちから一緒に体験できる場づくり） 5G
コミュニケーションを重視した子どもを生み育てるための意識改革イベントを開催しよう（既存のイベント×親子 or 若者） 5G
泉の森を活用して親子の遊び場を確保しよう 5G
安全性を確保しながら地域の人が運営／屋外の遊びを
大和市内・市外問わず、大和市の子育ての魅力を発信するため、既存のHPを直感的に分かるように改善する 5G

子育てしやすくなるような魅力を見つけ、伝え、UPするためのアイデア
男性が子育てするとかっこいいイメージのブランドづくり
ホームページによる情報発信をわかりやすく充実させる
大和市独自の魅力をもっとアピールする
子供を生み育てるための意識啓発の仕組み
学校の教育で子ども達に意識啓発する。
国際交流に力を入れてインターナショナルなイメージ
保育料が安くなって子育てしやすい

■グループ 6

子育てしやすくなるような魅力を見つけ、伝え、UP するアイディア

●議論の流れ

・ だれもが住み続けたくなる魅力があれば、それが結果的に子育てしやすくなるような魅力につながるのではないかという意見があり、まずは、大和市の魅力を洗い出すこととなった。

・ まず、景色、自然、歴史、農業など、環境資源が豊富にあることが大きな魅力であることが確認された。

・ 次に、平坦な地形であることや、都心へのアクセスが便利など、移動の利便性が高いことが確認された。

・ また、犯罪が少ない、大きな災害にあった経験がないなど安全・安心な生活環境があることが確認された。

・ 一方、課題として、公園や児童施設が点在しているが、遊び場として十分に機能していないこと、だれでも豊かな教育が受けられる環境の充実が必要なことが指摘された。

・ こうした魅力と課題を確認した上で、まずは、魅力的な環境資源、移動の利便性の良さ、安全・安心な生活環境があるまちであることを地域内外にうまく PR するため、例えば、民間会社とタイアップした効果的な PR を行うアイディアが出された。

・ 一定の公園や児童施設はあるものの、親子で遊べる、多世代の出会いの場となるような活用がされていないことから、その運営体制を改善しようというアイディアが出された。

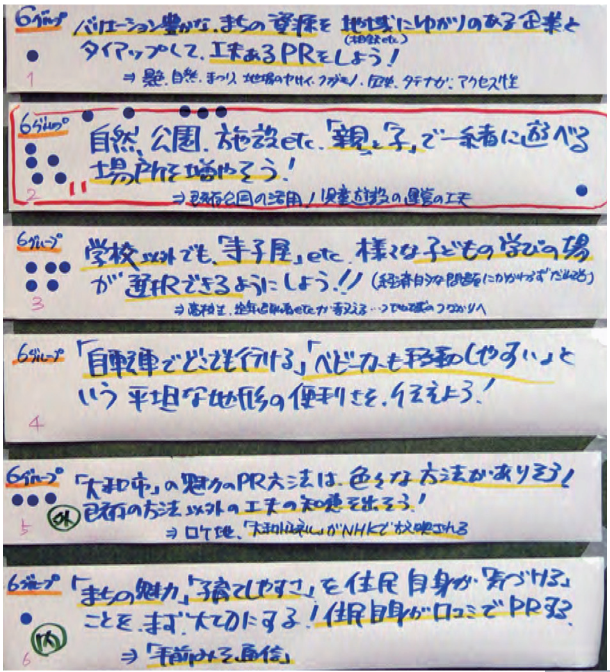
・ 親にとって、教育環境が充実していることは、住みたいまちに求められる大きな要因の 1 つではないかという議論となり、経済的な事情に関わらず、様々な教育の場への参加を市民が自由に選択できるよう、地域の人同士で教え合う寺子屋のような場づくりに関するアイディアが出された。

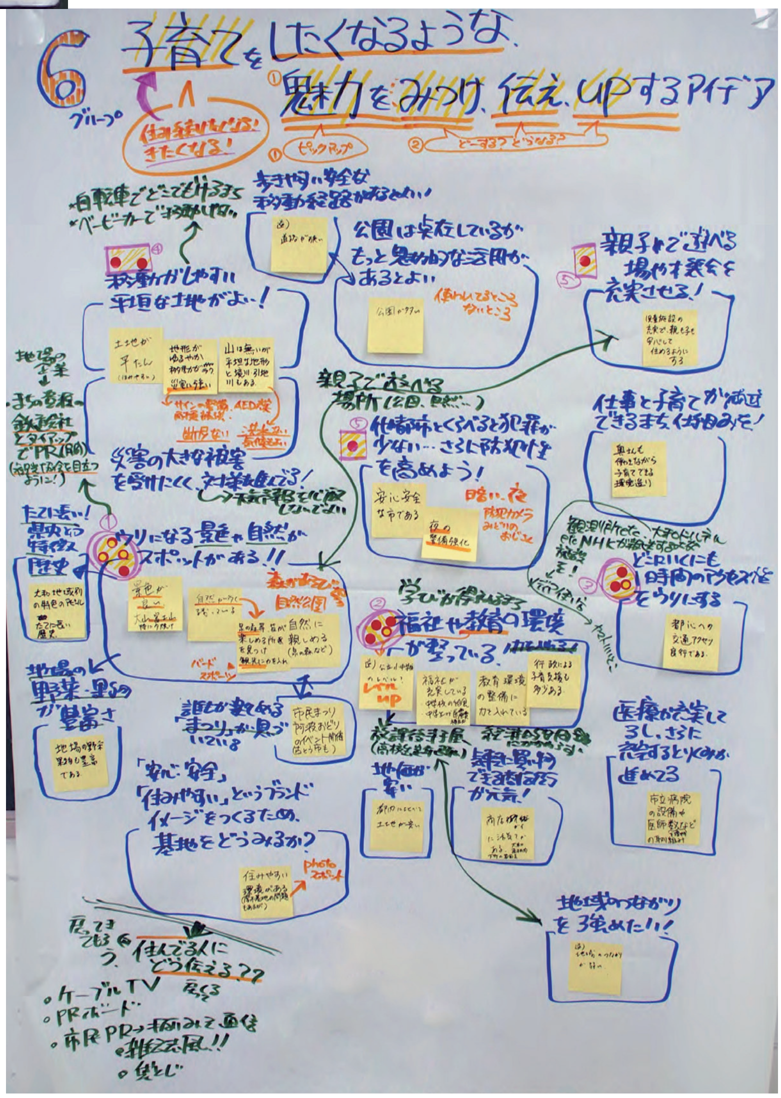
・ 最後に、このような魅力的な居住又は子育て環境を市民自身が「気付くこと」から始めることが大切であり、その方法として、自分のまちの良いところを市民自らが発掘し、市民向けに発信する「手前みそ通信」を作ってはどうかというアイディアが出された。

	課題（論点・個別意見） **（◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2 番目、3 番目に重要なものとして選んだ人数）**	**解決アイディア（短冊・個別意見）** **（シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）**
1	**ウリになる景色、自然、スポット、イベントがあることを活かせないか（◉3 人、○1 人）** 〔意見の付箋〕 ・景色がいい（大山、富士山、特に夕焼け） ・自然が多く残っている ・泉の森など、みんなが楽しめるところを見つけ、観光に力を入れる ・泉の森など、自然に親しめる ・市民まつり、阿波おどりなどのイベント	**バリエーション豊かなまちの資源を、地域にゆかりのある企業とタイアップして、工夫ある PR をしよう！** **（シール投票数 1 票）** ・相鉄とのコラボ ・景色、自然、祭り、地場の野菜、果物、歴史、縦に長い地形、アクセス性のよさを総合的に PR する

	どこに行くにも１時間のアクセス性をウリにする（◉１人、○２人） 〔意見の付箋〕 ・都心への交通アクセスが良好である **縦に長い特徴や興味深い歴史がある** 〔意見の付箋〕 ・大和地域別の特徴をアピール（たてに長い、歴史） **地場の野菜、果物が豊富である**	**「大和市」の魅力の PR 方法は、色々な方法がありそう！既存の方法以外の工夫に知恵を出そう！（シール投票３票）** ・ロケ地として PR する ・NHK 渋滞情報で放映される「大和トンネル」に PR 看板を設置する
2	**公園は点在しているが、もっと魅力的な活用があるとよい** **親子で遊べる場や機会を充実できないか（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・児童施設の充実で、親も子も安心して住めるようにする	**自然、公園、施設など、「親」と「子」で一緒に遊べる場所を増やそう（シール投票数１１票）** ・既存の公園の活用 ・児童施設の運営の工夫
3	**医療・福祉・教育の環境が整っている（◉１人、○３人）** 〔意見の付箋〕 ・公立小中学校をさらにレベルアップして欲しい ・福祉が充実している（中学校の給食、中学まで医療費補助） ・教育環境の整備に力を入れている ・行政による子育て支援がある ・市立病院の設備、医師数増加などの取り組み	**学校以外でも、「寺子屋」など、様々な子どもの学びの場を選択できる環境をつくろう（シール投票数５票）** ・経済的な問題に関わらず誰でも学べるようにしよう ・高校生、定年退職者などが教えて、地域のつながりへ
4	**災害に強く、移動しやすい平坦な土地がよい（○２人）** 〔意見の付箋〕 ・土地が平坦、地形が緩やかで移動が楽 ・災害に強い（これまで大地震や洪水がない） ・山はないが、平坦な地形と境川、引地川もある **歩きやすい安全な移動手段があるといい** 〔意見の付箋〕 ・道路が狭い	**「自転車でどこでも行ける」「ベビーカーも移動しやすい」という平坦な地形の便利さを伝えよう！**
5	**他都市と比べると犯罪が少ない、さらに防犯性を高められるといい（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・安心安全なまちである ・夜間の警備強化 **地価が安く、活気ある商店街を活用できないか** 〔意見の付箋〕 ・都内に比べて地価が安い ・商店街に活気がある	**「子育てがしやすいまち」であることを住民自身が「気づける」ことをまず大切にする！住民自身が口コミで PR しよう！（シール投票１票）** ・市民が市を自慢する「手前みそ通信」の発行
6	〔その他の課題〕 ・厚木基地をどう見るか ・地域のつながりを強めたい ・奥さんも働きながら子育てできる環境づくり	

●作業シート


6グループ バリエーション豊かな、まちの資源を 地域にゆかりのある企業と(相鉄etc.) タイアップして、工夫あるPRをしよう！
6グループ 自然、公園、施設etc.「親」と「子」で一緒に遊べる場所を増やそう！
6グループ 学校以外でも、「寺子屋」etc. 様々な子どもの学びの場が選択できるようにしよう!!
6グループ 「自転車でどこでも行ける」「ベビーカーも移動しやすい」という平坦な地形の便利さを、伝えよう！
6グループ 「大和市」の魅力のPR方法は、色々な方法がありそう！既存の方法以外の工夫の知恵を出そう！
6グループ 「まちの魅力」「子育てしやすさ」を住民自身が「気づける」ことを、まず大切にする！住民自身が口コミでPRする。


6 グループ
子育てをしたくなるような、
①魅力をみつけ、伝え、UPするアイデア
① ピックアップ
② どーする？ どうなる？
自転車でどこでも行けるまち
ベービーカーで移動しやすい
歩きやすい安全な移動経路があるとよい！
公園は点在しているがもっと魅力的な活用があるとよい
親子で遊べる場や機会を充実させる！
移動がしやすい平坦な土地がよい！
親子で遊べる場所（公園、自然…）
仕事と子育てが両立できるまち（仕組み）を！
ウリになる景色や自然がスポットがある!!
学びが得られる
福祉や教育の環境が整っている
地域のつながりを強めたい!!
住んでる人にどう伝える？？
ケーブルTV
PRボード
市民PR

■グループ７　若者が出会える場や機会をつくろう

●議論の流れ

・「若者が出会える場や機会をつくろう」というテーマを考えるにあたり、いまの高校の生活・恋愛事情はどうなのかを共有する為、グループ内の高校生へのインタビューからスタートした。各クラスに異性と付き合っている人が２、３人ずつくらいしかいないこと、テレビやインターネット、携帯電話など、昔と比べて情報を容易に得られるようになったことで、相手に求める理想が高くなっていること、勉強（特に受験勉強）や部活が忙しく、恋愛どころではないこと等が共有された。

・LINE に代表される SNS サービス等「相手と面と向かわずに会話できるツール」の存在や、「ゲーム等一人で遊ぶ娯楽」の増加があがった。面と向かって相手とコミュニケーションを取らずに完結できる世界が広がっており、出会う必要性にも気づかない状況が多いということも共有された。また、同性・異性に限らず、上手なコミュニケーションの取り方がわからない人が増えているという意見もあった。

・これらの課題に対しては、今回の市民討議会のような、身内ではない多世代の人と交流する機会や、学校同士の交流機会、大和市のイベントの手伝いでの交流機会などの様々な出会いの場面を作っていくことが重要であるというアイディアが出た。また、地域で行われているイベントや行事に小さい頃から参加する習慣を作っていくことも有効であるという意見や、恋愛や結婚の大切さを伝える教育プログラムをつくっていくことが重要であるという意見もあがった。

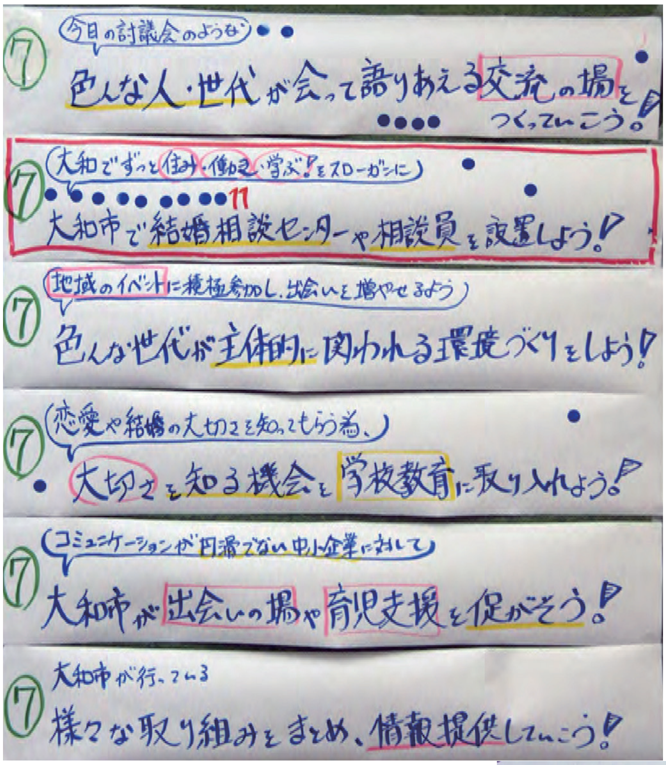
・さらに、学生に限らず、社会人、特に中小企業において、職場でのコミュニケーションが希薄になっており、上司部下での飲み会もあまりなくなっているのではないか、という意見があがった。学生の話にも共通するように、目上の人から様々なアドバイスをもらう機会、交流する機会が減ってきていることが課題であり、そういった状況にある企業に対し、大和市が活発なコミュニケーションを促すことができると良い、というアイディアが出た。

・またこのような様々な機会の提供に加え、今、またはこれから大和に住む人が結婚し、「大和市に住み続けたい」と考えてもらうことも重要であるという考えから、大和市が結婚相談センターや結婚相談員を設けていくというアイディアも出た。

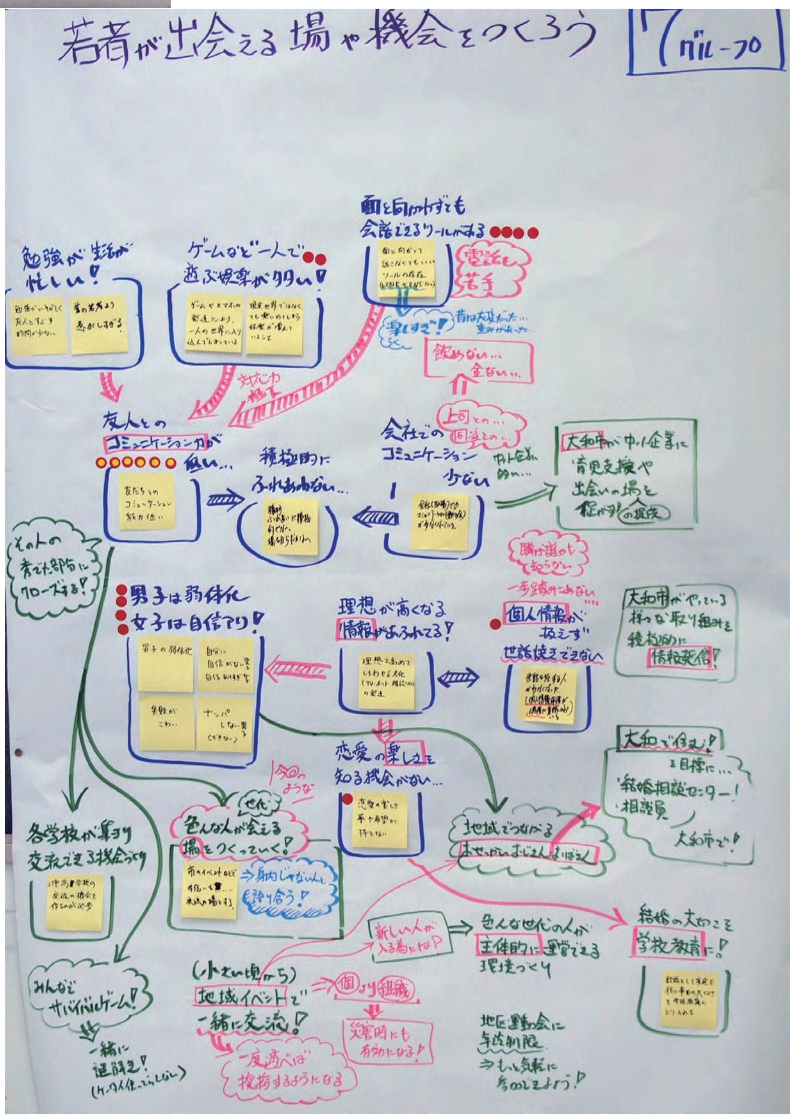
	課題（論点・個別意見） （◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○２番目、３番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1	**面と向かわずとも会話できるツールがある（○４人）** 〔意見の付箋〕 ・面と向かって話さなくてもいいツールの存在（SNS など） **ゲームなど、一人で遊ぶ娯楽が多い** 〔意見の付箋〕 ・ゲームやスマホの発達で、一人の世界に入り込める ・現実世界ではなくても楽しめる娯楽が増えている	**色んな人、世代が会って語り合える交流の場をつくっていこう！（シール投票数７票）** ・身内じゃない人と語り合う機会 ・市のイベントなどの手伝いも交流の場とする ・小中高等学校の交流の機会をつくることが必要 ・みんなで携帯を使わずに一緒に謎解きするウォークラリーやサバイバルゲームを開催する

2	**個人情報が扱えず、世話焼きができない（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・世話を焼く人が少なくなった（個人情報が過度に意識されている） **人と積極的にふれあわない** 〔意見の付箋〕 ・ふれあいに積極的でない、自ら場を求めない	**「大和でずっと住み、働き、学ぶ！」をスローガンに、大和市で結婚相談センターや相談員を設置しよう！（シール投票数１１票）** ・おせっかいおばさん、おじさん ・「大和市で住み続けたい」と思ってくれる人が増えるよう、大和市が積極的に結婚相談センターや結婚相談員を設置 **大和市が行っている様々な取り組みをまとめ、情報発信していこう！**
3	**勉強や日々の生活の忙しさから、友人とのコミュニケーション力が低くなる** 〔意見の付箋〕 ・友達とのコミュニケーション能力が低い ・勉強が忙しく、友人と過ごす時間が少ない ・昔の若者より忙しすぎる **恋愛の楽しさを知る機会がない（○１人）** 〔意見の付箋〕 ・恋愛の楽しさ、夢や希望が持てない	**地域のイベントに積極的に参加し、出会いを増やせるよう、色んな世代が主体的に関われる環境づくりをしよう！** ・小さい頃から地域イベントで一緒に交流 ・色んな世代の人が地域のイベント・行事の運営に主体的に参加できる環境づくりが必要 ・地区の運動会を、もっと気軽に参加できるようにする
4	**結婚相手や恋愛相手の理想が高くなる情報が溢れている** 〔意見の付箋〕 ・理想を高めてしまわせる文化（TV、ネット、雑誌など） **学生は男子は弱体化し、女子は自信ありな人が多い！（○４人）** 〔意見の付箋〕 ・男子の弱体化 ・失敗が怖い ・自分に自身がない男子、ありすぎる女子 ・ナンパしない男	**恋愛や結婚の大切さを知ってもらうため、大切さを知る機会を学校教育に取り入れよう！** **（シール投票数２票）** ・結婚をして家庭を持つことの大切さを学校教育に取り入れる
5	**会社でのコミュニケーションが少ない** 〔意見の付箋〕 ・会社（職場）でのコミュニケーション（飲み会）が少なくなった ・今の若い世代は飲めない人が多かったり、お金がない人が多かったりする ・主に中小企業でコミュニケーションが不足している	**コミュニケーションが円滑でない中小企業に対して、大和市が出会いの場や育児支援を促そう！** ・大和市が育児支援や出会いの場の提供をするよう、中小企業に促す

●作業シート



7
今日の討議会のような・・
色んな人・世代が会って語りあえる交流の場をつくっていこう！
7
大和でずっと住み・働き・学ぶ！をスローガンに
大和市で結婚相談センターや相談員を設置しよう！
7
地域のイベントに積極参加し、出会いを増やせるよう
色んな世代が主体的に関われる環境づくりをしよう！
7
恋愛や結婚の大切さを知ってもらう為、
大切さを知る機会を学校教育に取り入れよう！
7
コミュニケーションが円滑でない中小企業に対して
大和市が出会いの場や育児支援を促そう！
7
大和市が行っている
様々な取り組みをまとめ、情報提供していこう！



若者が出会える場や機会をつくろう
7グループ
勉強が生活が忙しい！
ゲームなど一人で遊ぶ娯楽が多い！
面と向かわずでも会話できるツールがある
電話も苦手
楽しすぎ！
昔は大変だった…重みがあった…
飲めない…金ない…
対応力低下
友人とのコミュニケーション力が低い…
積極的にふれあわない…
会社でのコミュニケーション少ない
上司との…同僚との…
中小企業が多い…
大和市が中小企業に育児支援や出会いの場を促す！の提供
その人の秀でた部分にクローズする！
男子は弱体化
女子は自信アリ！
理想が高くなる
情報があふれてる！
隣は誰かも知らない
一歩踏み込めない…
個人情報が教えず世話焼きできない
大和市がやっている様々な取り組みを積極的に情報発信！
恋愛の楽しさを知る機会がない…
今回のような
世代
色んな人が会える場をつくっていく！
身内じゃない人と語り合う！
各学校が集まり交流できる機会づくり
地域でつながるおせっかいおじさんおばさん
大和で住む！を目標に…
結婚相談センター！
相談員
大和市で！
新しい人が入る為には？
色んな世代の人が主体的に運営できる環境づくり
結婚の大切さを学校教育に！
みんなでサバイバルゲーム！
一緒に理解を！
（小さい頃から）
地域イベントで一緒に交流！
個より組織
災害時にも有効になる！
一度遊べば挨拶するようになる
地区運動会に年齢制限
⇒もっと気軽に参加できよう！

■グループ８　若者が出会える場や機会をつくろう

●議論の流れ

・「若者向けイベントが少ない」「若い人が集えるところが少ない」「(地元に)魅力を感じられない」「時間が無い」「若者がそもそも(まちに)いない」「ご近所づきあいができない」と大きく６つの論点で意見交換が行われた。

・「若者向けのイベントが少ない」という論点では、若い時からコミュニケーションの機会を増やすための若者向けのイベントやお祭りなどが少ないことが指摘された。具体的に社会人限定のイベントや学生主催の合同文化祭などのアイディアが提案された。一方、昔からある子供会などに入る人が減っている現状を解決すべきであるという意見もあった。いずれも、地域と連携して実施するコミュニケーション機会の充実に重きが置かれた内容が提案された。

・「若い人が集えるところが少ない」という論点では、若者の活動実態に即した集まれる場所が少ないという意見があり、解決策として、施設整備だけではなく、企業連携などによって、若者による運営の仕組みをつくるなど、ソフト面のアイディアも提案された。

・「(地元に)魅力を感じられない」という論点では、若者がまちに居ないことの原因として、大和市に魅力を感じている若者が少ないことが意見として出され、解決策として、地元への愛着の向上を促すための企画が提案された。

・「時間が無い」という論点では、学生は学業など、若手の社会人は仕事に時間を取られ交流機会が少なくなっていることが課題としてあげられた。これを解決するため、学校行事として「合同文化祭」を開催するなど、参加しやすい仕組みで参加型イベントを企画することが提案された。

・「若者がそもそも(まちに)いない」という論点では、前記の「(地元に)魅力を感じられない」とも連動し、青年が大和市にとどまらないことによる若者減少により、更に交流機会が減ってしまう結果になってしまうのではないかとの意見が出された。これを解決するために大和市の魅力を感じることができる企画を行うことが提案された。

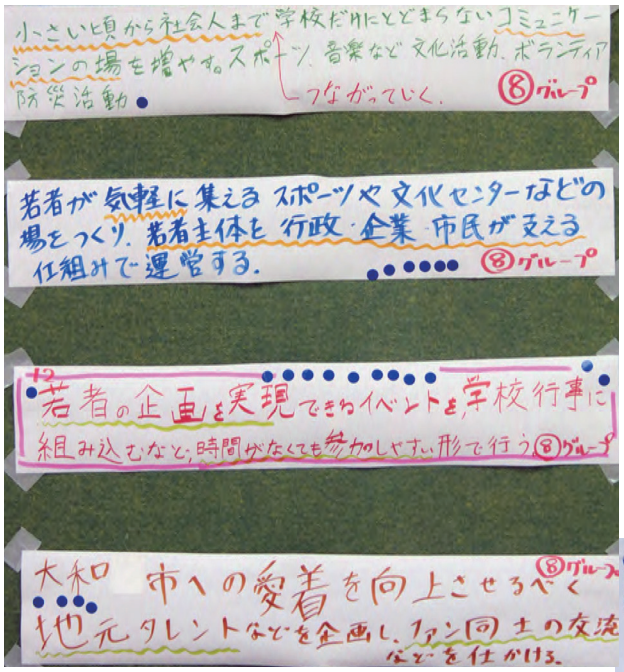
・「ご近所づきあいができない」については、前記の「若者向けイベントが少ない」の流れから近所づきあいの減少、地域でのコミュニケーション不足などが課題として指摘された。この解決策として、既存の地区のコミュニケーション機会だけでなく、ファミリーサポートセンターの活用など多世代交流ができる機会をもっと積極的に活用すべきとの意見が提案された。

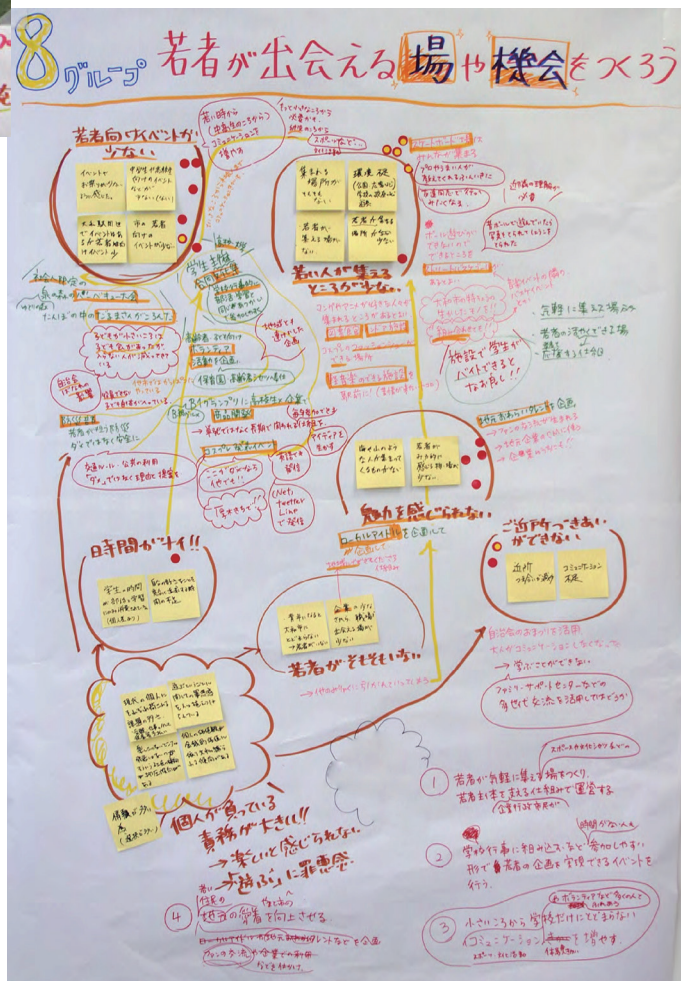
・上記の６つの論点のほか、そもそも現代の若者は、個人が背負っている責務が大きいことから、楽しいと感じられることが少ないのではないかとの意見もあった。また、「遊ぶ」ということに関して罪悪感する感じてしまうような、心の余裕が少ないことも出会う場や機会を減少させる結果に繋がっているのではないかとの意見もあった。

	課題（論点・個別意見） （◉グループの中で最も重要度が高いものとして選んだ人数、○2番目、3番目に重要なものとして選んだ人数）	解決アイディア（短冊・個別意見） （シール投票数：グループ発表後、参加者が大切だと感じて投票した数）
1	**若者向けのイベントが少ない（◉1人○5人）** 〔意見の付箋〕 ・イベントやお祭りが少ないように感じた ・中学生や高校生向けのイベントなどが少ない(ない) ・大和駅周辺でイベントがあるが若者向けイベントが少ない	**小さい頃から社会人まで繋がっている、学校だけにとどまらないコミュニケーションの場を増やす。スポーツ、音楽など文化活動、ボランティア、防災活動（シール投票数1票）** ・社会人限定のバーベキュー大会をゆとりの森などで行う ・社会人限定の田んぼの中の「だるまさんが転んだ」で遊ぶ ・学生主催の合同文化祭を開く ・高齢者・子ども向けボランティア活動を企画 ・若者が担う防災部をつくる
2	**若い人が集えるところが少ない（◉4人○1人）** 〔意見の付箋〕 ・集まれる場所がそもそもない(少ない) ・環境不足(公園・広場など) ・学校の校庭などの遊具	**若者が気軽に集えるスポーツや文化センターなどの場を作り、若者主体を行政・企業・市民が支える仕組みで運営する（シール投票数6票）** ・プロやうまい人が初心者に教えてくれる雰囲気のスケートボード場があると友達同士で行ってみたくなり、交流が増える ・音楽イベントの隣でバスケイベントをするなど、組み合わせてイベントをする ・漫画やアニメが好きな人々が集まれる「図書館」があるとよい ・コスプレのファッションショーができる場所があると良い ・軽音楽ができる施設が駅前の苦情が来ないようなところにあると良い ・若者向け施設を民間運営し、学生がその施設でバイトできるようになると良い
3	**（地元に）魅力を感じられない（○4人）** 〔意見の付箋〕 ・海や山のような人が集まってくるものがない ・若者が魅力的に感じる物・場が少ない	**大和市への愛着を向上させるべく地元タレントなどを企画し、ファン同士の交流などを仕掛ける（シール投票数4票）** ・地元アイドルやお笑いタレントを呼んでイベントを企画し、ファン同士の交流を促進する ・地元企業の CM に地元タレントを起用し、企業誘致にもつなげる
4	**学生は勉強や部活で忙しくて時間が無い（○2人）** 〔意見の付箋〕 ・学生の時間が部活と学習のみに消費されている (個人差あり) ・自分の好きなことを十分に追及する時間の不足	**若者の企画を実現できるイベントを学校行事に組み込むなど時間が無くても参加しやすい形で行う（シール投票数12票）** ・若者向けイベントを学校行事などに取り込むことで時間のない人でも参加意欲のある人が参加できる仕組みを作る ・高校生×企業で商品開発をして B1 グランプリに出場 ・コスプレ発表イベントを実施し、世界へ発信
5	**若者がそもそも(まちに)いない** 〔意見の付箋〕 ・青年になると大和市にとどまらない→若者がいない ・企業の少なさから、職場で出会える場が少ない	・地元に来てくれる企業を誘致する
6	**ご近所付き合いができない（◉1人○1人）** 〔意見の付箋〕 ・近所付き合いが減少、コミュニケーション不足	・ファミリーサポートセンターなどの多世代交流機会を活用してはどうか

7	〔その他の意見の付箋〕 ・現代の個人に課される課題が多い。（受験、仕事のノルマ、税金等の支払い） ・社会の抑圧傾向がある ・遊ぶことに関して罪悪感を植えつけられている ・個人の価値観が金銭的価値に大幅に縛られる傾向がある ・情報が多いため（選択が多い）	

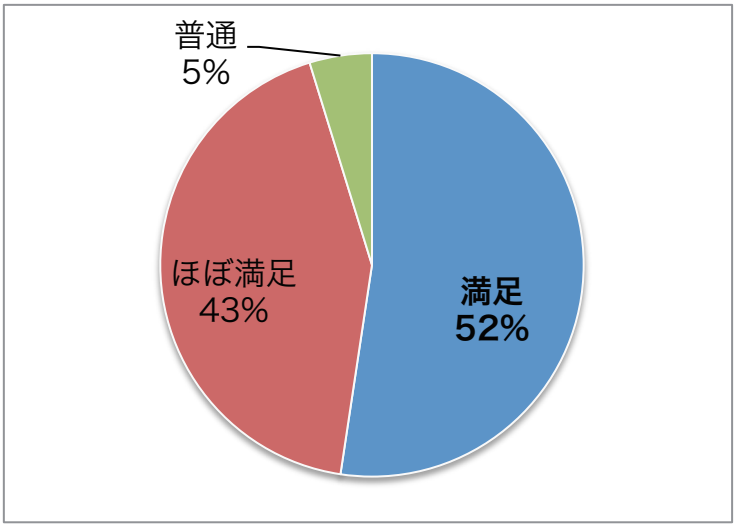
●作業シート





3. 参加者アンケートのまとめ

Q.本日の市民討議会はいかがでしたか？（満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満）



満足	22
ほぼ満足	18
普通	2
やや不満	0
不満	0
計	42

＊未回答：1

●具体的な回答（抜粋）

○世代を超えたさまざまな市民同士で意見交換ができ、大変よい機会だった

- 長い時間が短く感じるくらい意見が飛び交い、いろいろな方の考え方など聞けて良かった。
- 同じ市民の声を聞けて良かった。
- 色々な世代からのメンバーでユニークな発言も多かった。
- 世代を超えていろいろな考え方を真剣に討議し有意義に感じた。
- 色々な年代の方と市について話し合える機会は中々ないのでとても良い経験になった。
- 高校生からシニアの方までの考え方が一つにまとまっていく機会は貴重だと思う。
- 普段、親には直接聞けないことを同年代の方々から聞くことができてとても勉強になった。
- 現在問題になっていることや、様々な世代の方の考えを理解することができた。

○これまで知らなかった大和市のことや支援制度、サービスを知ることができた

- 大和市のことを知る良い機会だった。
- 知らなかった市の支援制度・サービスを知れた。

○リラックスして自分の意見を言うことができた

- 自分の意見を自由に発言ができた。
- 気負わずにリラックスして意見を言うことができた。それぞれの立場での話も聞けた。

○意見交換を通じて、若者の熱いエネルギーを感じたり、意見に地域的なばらつきがあることに気づいたりした

- 地域格差があることや若い人たちの意見が聞くことができて勉強になった。

・若い人が積極的に参加していることに好感を覚えた。
・これから活かせそうな意見もあり為になった。
・若い人達の真剣な熱いエネルギーを感じた。

○活発な意見交換から、より深く考えたり、自分の仕事に役立てようと思うようになった

・様々な意見が聞け、集中して考えるきっかけとなった。
・身近なテーマなので議論が活発であった。
・今日のすべてとても良い経験になった。学校づくりに役立てたいと思う。

○その他の意見

・あまり真剣に考えたことのなかった少子化について、国や自治体の苦労を実感でき、勉強になった。
・おもった以上のアイディアが出て良かった。
・時間的にやむを得ないが、現状分析や大和市の施策に対する質問時間が欲しかった。
・行政側との意見交換の場も欲しかった（行政側メンバーも討議に加わる）。
・テーマ発表は時間的な制約もあり、少し消化不良の感じ。
・具体的な意見が埋もれてしまっている面もあるかと思った。
・グループ分けのせわしなさがあった。
・とても有意義な場で継続してほしいと思った。

Q.市民討議会での他のグループの発表をふまえ、追加したいアイディアや話し足りないことがございましたらお書きください。（抜粋）

●「出会い」に関すること

・人を集められるような環境づくりが大事。
・様々な世代同士世代間の交流が進むと、結婚だけでなく、良いつながりがつくられていくと思う。
・公共施設を利用しやすくしたい。
・ウォーキングコースをつくりたい。
・思っている以上に皆さんが「ふれあい」「コミュニケーション」に対して必要性を感じていることが分かり安心した。
・婚活に行政が関わる。
・小中高校同士での交流。若いうちからいろいろな人と話せる場を作る。
・ちょい呑み等、街コンも行われて都会的になりつつあると思う。
・行政主催のものに出たいという人は少ない気がする。誘致などで間接的に行うと良い気がする。
・文化的交流・在日外国人との交流。
・高校生、大学生、若者が集える場がない。あってもまじめな子しか使えない。フランクな場を作る。

・市や自治会が主催となってイベントを開催するとよいのではないか。
・学生主催のイベントを行いたいと思った。その中に、学生が発表し、参加し、運営する機会をつくり、また、アクセスが良く県内のあらゆる場所から訪れやすいことを利用し、若者が「たての関係」は勿論、幅広く「よこの関係」を築けるようなものをつくりたい。

●「仕事」に関すること

・どんな企業がこの街に存在していて雇用状況、情報があるのかすら分からない。
・中小企業、特殊会社を誘致して、雇用機会を広げてほしい。
・企業誘致、有名大学の一部の学部を誘致。
・シルバーの仕事についても、今までのキャリアを生かす方向にシフトしてはどうか。
・職場・住居・子育て一体での施策が重要。
・ネットを通した仕事のシェア。
・個人の起業の継続的支援。
・男女共に育児休暇をとりやすい職場を増やし、PR する。
・女性が産休などからの復帰をしやすい社会をつくってほしい。

●「子育て」に関すること

・将来、大和市で子育て含め住んでも良いと思えた。
・大和の地域格差、経済格差についての不満がもっと出るかと思った。
・出産に関する環境がしっかりしていることを知り、安心した。
・駅周辺のパチンコ屋を少し離れた所に移し、保育施設と養老院等を合わせた施設を作る。
・子育て支援（大和市が行っている）をもっとアピールする。
・福祉サービスなどは、年度で切替えのものと、年で切替えのものがあり、配慮が必要だと思う。
・放射能汚染への懸念の払拭。
・女性も男性も関心を持つことができて、かつ安心な保育施設を作る。
・近所の方たちとの交流を深められればもっと安心して子育てができるのではないか。
・高齢者住宅と子育て世代住宅を隣り合わせ、助け合える交流をもてる場とする。

●「意識啓発」に関すること

・情報を受け取る側の問題に対する啓発活動が必要。知らないで損していることがかなりあるはず。
・学校、イベントで広報活動する。
・大和の魅力を市民でも知らないことがある。市民へのアピール強化→口コミにつなげることが必要。
・「大和市」というブランドをもっと強化してもらいたい。
・町の掲示板などで子育てについての制度などをわかりやすく掲示して意識を高めたいです。

●その他

・厚木基地のデメリットや問題はクローズアップされるが、メリットや良い点は知られていない。
・大和に在住 20 年以上の人にお祝い金があると嬉しい。

・ 大和といえば、という大和スタイルはあったら良い。「近居の町大和」「子供たくさんの町大和」。
・ 大和市を自然に TV に写るようにしたい。
・ 歩きは出会いにつながるので、ただのコースではない、アメリカのフリーダムトレイルのようなコースが欲しい。
・ 歩けば店にあたり、歩けば大和の歴史にふれられる様々なコースデザインに。
・ 高齢者が増加していく現状のなかで「介護予防」から人口減を食い止めることをもう少し取り上げてほしかった。
・ 高校生・大学生を抱える家族への支援。
・ 治安を考えるならば、これ以上パチンコ屋が増えるのはどうかと思う。
・ 大和スタイルの具体的な取り組みとして、大和の親元に子世代が戻ってきた場合（同じ大和市に転入してきた時）、税制優遇措置を検討してほしい。
・ 大和市はスポーツ施設が少ないので、増やしてほしい。

Q.今回が３回目となるやまと市民討議会でしたが、このような取り組みへのご意見や、より参加しやすくなるための工夫・アイディアなどお気づきの点がございましたらお書きください。（抜粋）

○さまざまな年代、地域の人と意見交換でき、楽しく有意義だった

・ はじめは長い時間と思ったが楽しく、有意義で、あっという間に終わった。
・ 高校生をはじめ、様々な年代の方や、様々な地域の方が意見交換できる場はとても有意義だと思う。
・ このような機会自体が面白い取り組みだと思った。

○今後もこのような討議会を継続し、頻繁に開催してほしい

・ 頻度を増やしてほしい。
・ 定期的に継続してほしい。
・ 今回参加しやすかったので、又参加したいという気持ちになった。

○より深い意見交換を行うために、リピーターを増やすとよいのではないか

・ より深い意見交換にするために今回を含めて過去に検討会に参加してもらった方に再度参加してもらう、検討会にはじめての方と一度参加した人でより深い討議が出来ると思う。

○早めに募集する、気軽に参加できる PR 方法をとるなどして、もっと大々的にこの討議会をアピールしてほしい

・ 気軽に参加できる様な PR が必要と感じる。
・ 早めの募集が必要。
・ 第 1,2 回のことは全く知らなかった。もっとアピールし、自主的に参加したい人の枠も設けるのもよいかと思う。

○参加意欲が向上するので、討議会の結果をしっかり公開し、今回の討議会の結果がどのように検討・実施されているのか、参加者に経過報告してほしい

・参加した人に、その後でどのような検討が行われたか、行われているかを直接パンフレットなどでお知らせしてほしい。そうすることで口コミで参加することに前向きな人が増えると思う。市民として市政に参加したいという気持ちになる。

・情報公開をしっかりとしてほしい（話された内容の代表的な意見など）

○討議会で出た意見を市政に活かし、市民が意見を述べる場を広げてほしい

・今回の意見がより広く市政に活かされて、より市民の距離が近くなり、堂々と意見が述べられる場面、場所を多く広げてもらえることを期待します。

○となりのグループの声が聞こえ、集中しにくかった。

・グループ毎に別室にするか、ついたてを立てて周りからの声が入らないようにしてはどうか。

・となりの話がノイズになったこともある。もっと広い場所でワークショップをやりたかった。

○参加者同士でもっと親しくなりたいので、一緒に食べられるようお弁当などを用意すると良いのではないか

・昼食は主催者側でお弁当でも用意すれば、もっと親密になれて良いのではないか。

・参加者一人一人についてもっと知ることができるともっと面白かった。

○ファシリテーターの意見整理やまとめる力を感じた。面白くてよかった

・進行役のファシリテーター方々の意見整理の力や全体をまとめる力が、とても素晴らしかった。

・各机にいらしたサポートの方々面白くて良かった！！

○ファシリテーターによって差があり、良くも悪くも影響力が大きいと感じた

・ファシリテーターの方の力の大きさを感じた（良い面悪い面ともに）。

・進行役の方に差があるように思った。

○その他

・テーマをもう少ししぼって具体的な討論が出来ると良いと思う。

・今回の議題からすると、子供を産む世代のもっと聞けたら良いのではないかと思った。

・午後の活動は 4 つのテーマをあらかじめ知らせておき、それぞれやりたい項目を選び、その後に人数調整する形の方が良いのではないかと思った。

・より多くの時間話し合った方が良いと思った。

・作業机が、模造紙が書きやすい机だともっと良いのではないか。

（アンケート調査票）

やまと市民討議会　　平成27年10月3日（土）

参加者アンケート

●本日の市民討議会はいかがでしたか？あてはまるもの１つに○をつけてください。

満足　　ほぼ満足　　普通　　やや不満　　不満

○その理由をお書きください。

●市民討議会での他のグループの発表をふまえ、追加したいアイディアや話し足りないことがございましたらお書きください。

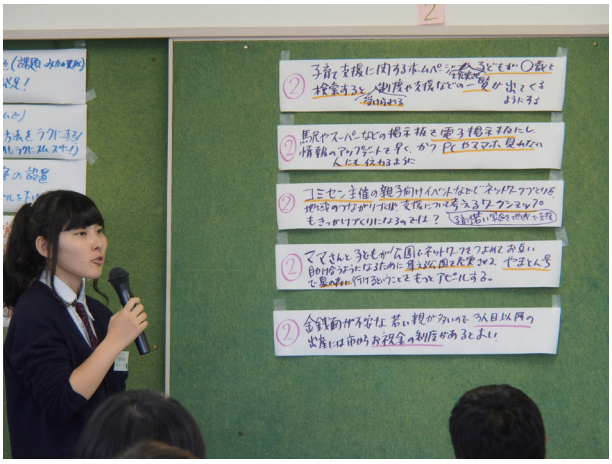
「出会い」に関すること	
「仕事」に関すること	
「子育て」に関すること	
「意識啓発」に関すること	
その他	

●今回が３回目となるやまと市民討議会でしたが、このような取り組みへのご意見や、より参加しやすくなるための工夫・アイディアなどお気づきの点がございましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました！

4. 市民討議会の写真

やまと市民討議会



やまと市民討議会

やまと市民討議会

5. 大和市の人口を取り巻く環境

市民討議会の参加者の方には、市の人口を取り巻く環境や取り組みについて情報を事前資料として提供したうえで、討議会にご参加いただきました。

1. 人口の推移と推計

大和市における人口推移と今後の推計

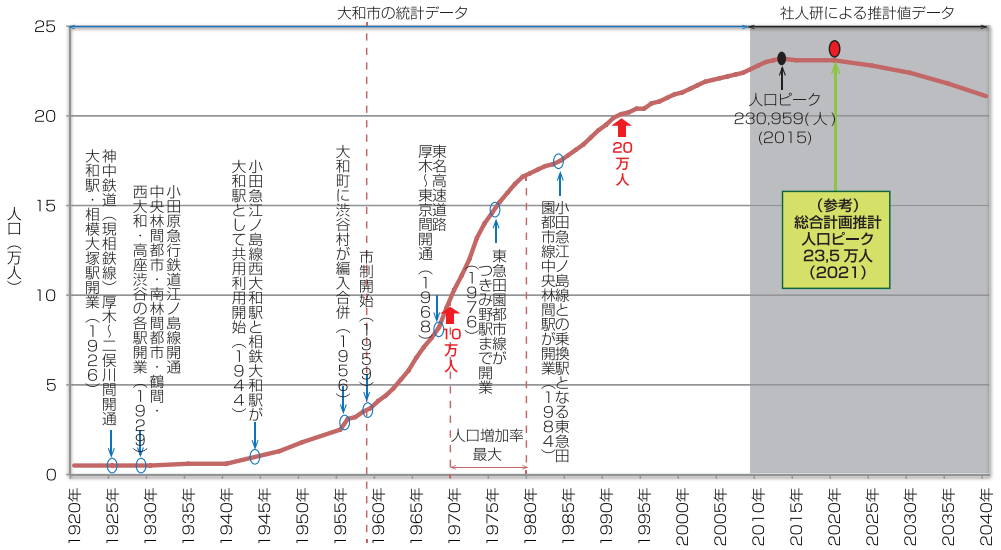
[図表 1] は、1920 年から 2010 年までの大和市の人口推移と、2013 年に国立社会保障・人口問題研究所（以降、社人研という）が発表した 2010 年以降の推計です。

本市の人口は、市制開始前から増加を続けており、市制開始の 1959 年には人口約 3 万 6 千人でした。その後、1970 年には 10 万人を、1992 年には 20 万人を超え、2015 年 9 月現在、約 23 万 3 千人となっています。

社人研の推計では、大和市の人口は 2015 年が最大となり、その後は、緩やかに減少が続いていくものとされています。※

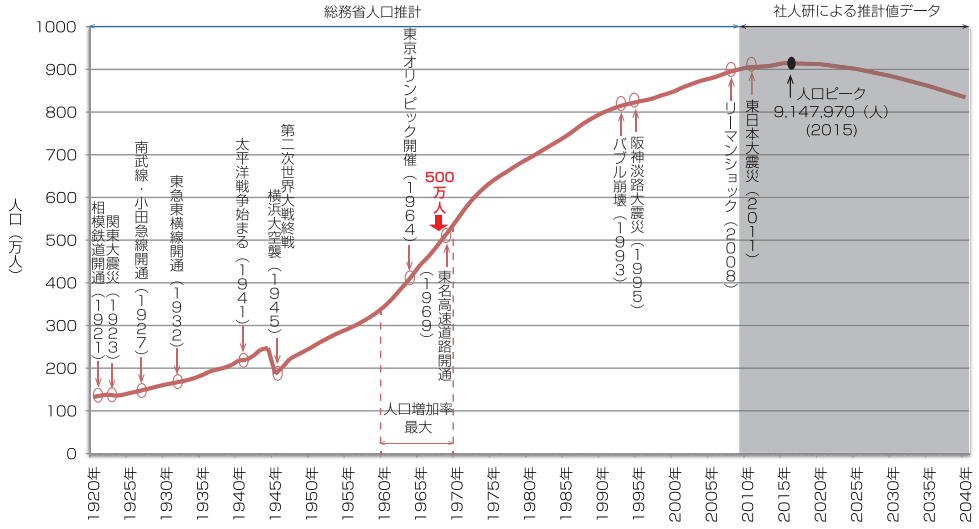
※なお、2014 年に市が策定した第 8 次大和市総合計画後期基本計画の推計では、本市の人口は 2021 年まで増加が続くものと見込んでいます。

[図表 1]　本市における人口推移及び今後の推計



（出典：大和市統計概要、社人研「日本の地域別将来推計人口」のデータをもとに作成）

[図表 2]　神奈川県の人口推移及び今後の推計（参考）



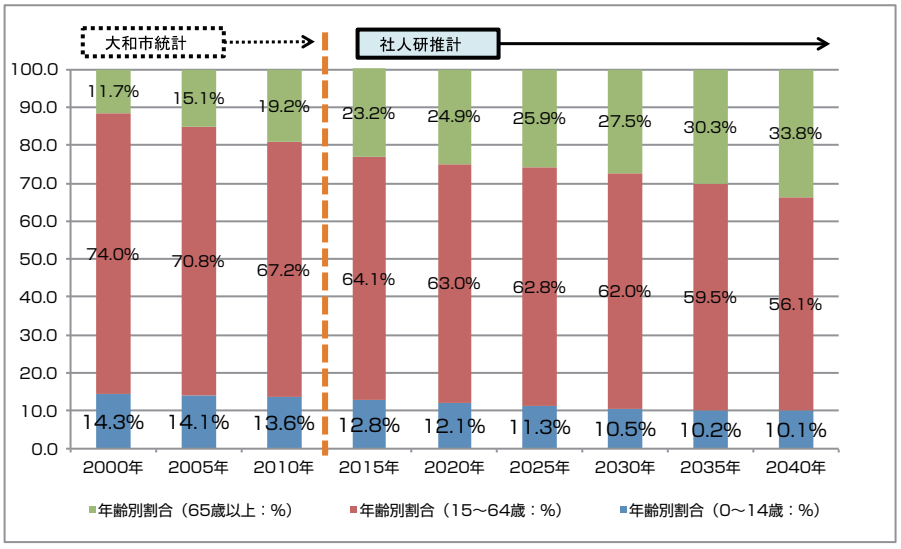
（出典：総務省人口推計、社人研「日本の地域別将来推計人口」のデータをもとに作成）

大和市における年齢３区分別人口割合の推移と今後の推計

「年齢 3 区分別人口割合」とは、大和市の人口を、年少人口（0 歳～ 14 歳）、生産年齢人口（15 歳～ 64 歳）、老年人口（65 歳以上）の３区分で分け、その比率を出したものです。

大和市の年齢３区分別の人口割合をみてみると、2005 年以降に老年人口の割合が年少人口の割合を上回るようになり、今後もその傾向が続くものと推計されています。

[図表 3]　年齢 3 区分別人口割合の推移と推計



（出典：大和市統計概要、社人研「日本の地域別将来推計人口」のデータをもとに作成）

2. 人口増減の構造

人口増減をみていく時には、「自然増減」と「社会増減」の２つの視点があります。

自然増減

自然増減とは、出生数と死亡数の差のことです。出生数が死亡数を上回っていれば、自然増、逆に、出生数が死亡数を下回っていれば、自然減となります。

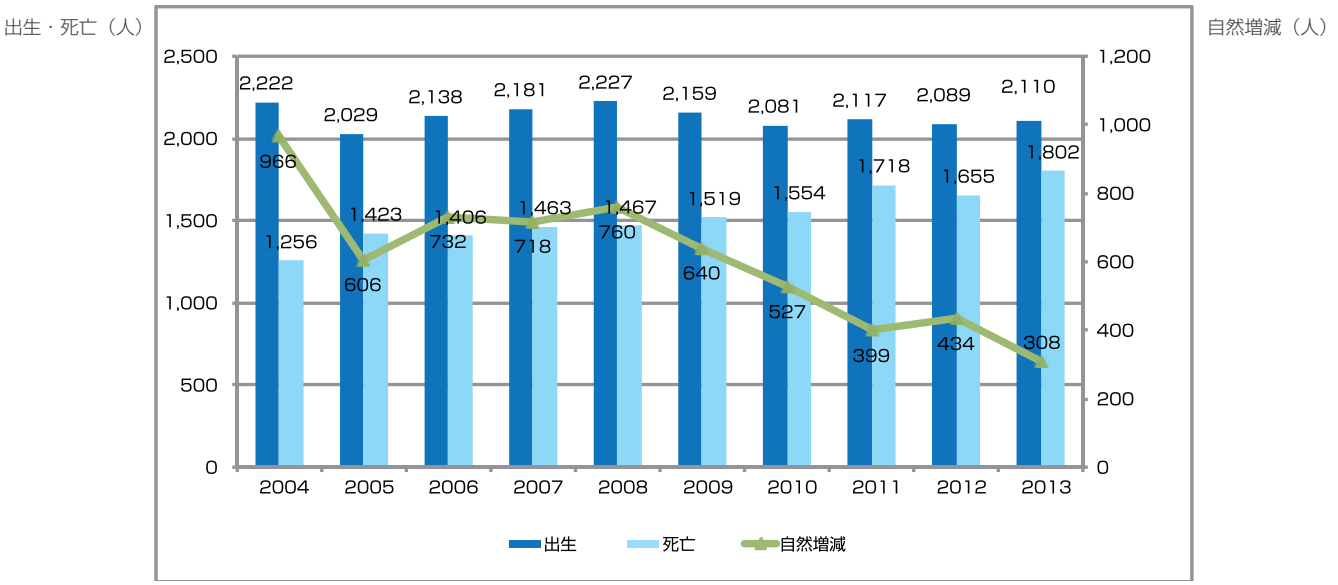
自然増	＝	出生数	＞	死亡数
自然減	＝	出生数	＜	死亡数

[図表４] は、大和市における自然増減の推移を示しています。2008 年以降、出生数がほぼ横ばいで推移している一方、死亡数が徐々に増えています。

2013 年の時点でも、自然増を維持していますが、このままのペースで推移すると、近い将来、自然減に転じるものと推測されます。

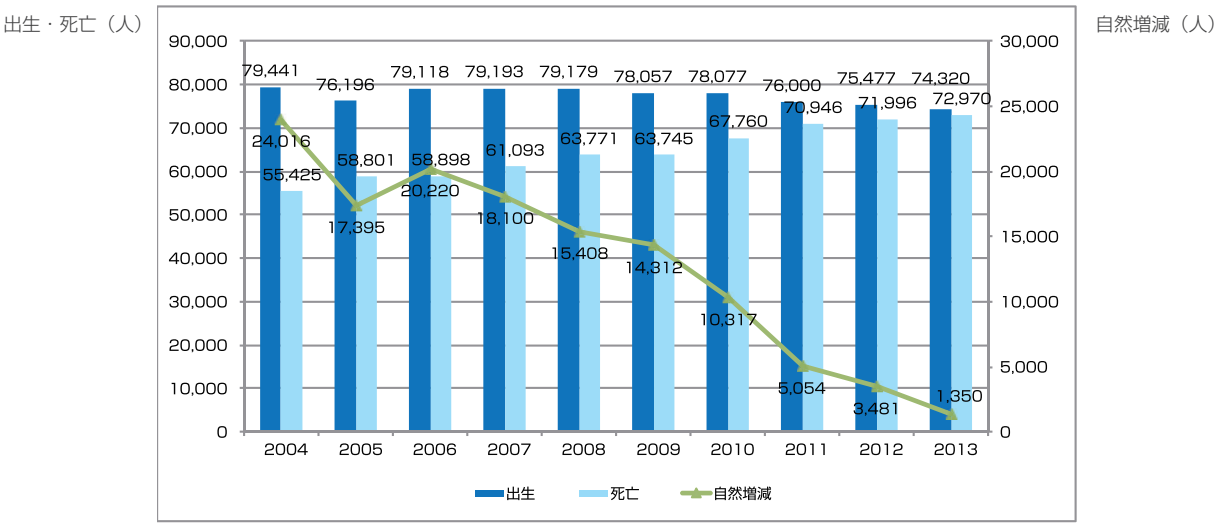
また、この傾向は神奈川県においても同様です [図表 5]。

[図表 4]　大和市の自然増減の推移



（出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

[図表 5]　神奈川県の自然増減の推移



（出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

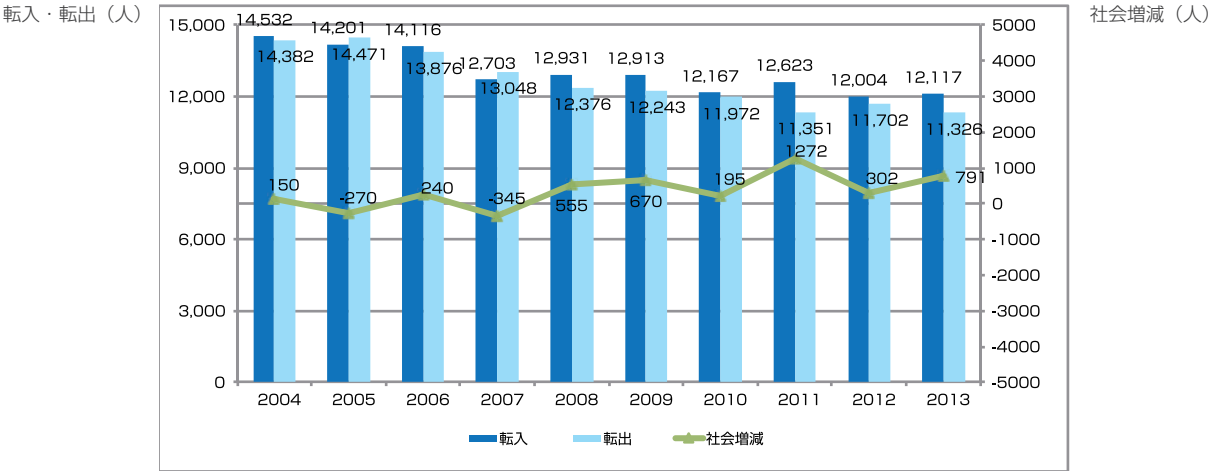
社会増減

社会増減とは、市内への転入数と市外への転出数の差のことです。転入数が転出数を上回っていれば社会増、逆に、転入数が転出数を下回っていれば社会減になります。

社会増	＝	転入数	＞	転出数
社会減	＝	転入数	＜	転出数

[図表 6] は、大和市における社会増減の推移を示しています。年度毎に増減の幅が異なるものの、ここ数年は、社会増が続いています。

[図表 6]　本市の社会増減の推移



（出典：大和市統計概要のデータをもとに作成）

3. なぜ人口が減少するのか

人口の増減には自然増減と社会増減がありますが、社会増減は人の移動によるものであり、我が国全体を考えると、自然増を増やしていくことが必要です。

しかしながら、大和市の自然増減は、今後、自然減に転じるものと推測されており、このことから、人口減少が進んでいくこととなります。

ここからは、自然増減に関連すると考えられるいくつかのデータを紹介していきます。

合計特殊出生率

「合計特殊出生率」とは、一人の女性が一生のうちに産むと推定される子どもの平均数を表すものです。この数値によって、異なる人口の地域間における出生率の比較を行うことができます。

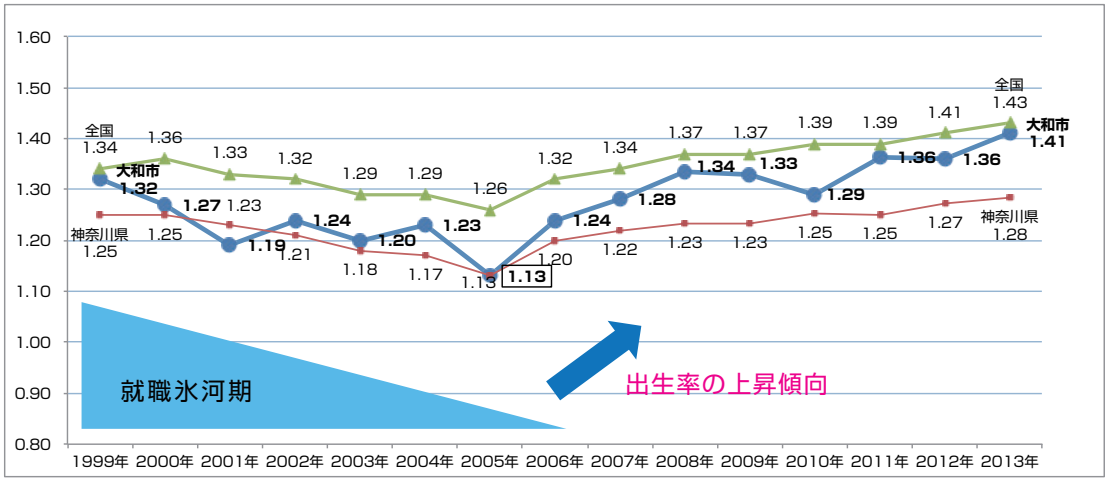
また、一般的には、現在の死亡水準で考えた場合、この数値が「2.07」※になると、人口が長期的に増えも減りもせずに一定となるとされています。

※合計特殊出生率 2.07 とは、一人の女性が一生のうちに約 2 人のこどもを産むということ。

[図表 7] は、大和市、神奈川県、全国の合計特殊出生率の推移を示しています。本市においては、2005 年に「1.13」まで減少しましたが、その後上昇し、2013 年には「1.41」と、県内 19 市のなかで最も高く（図表 8）、全国の出生率に近付いています。

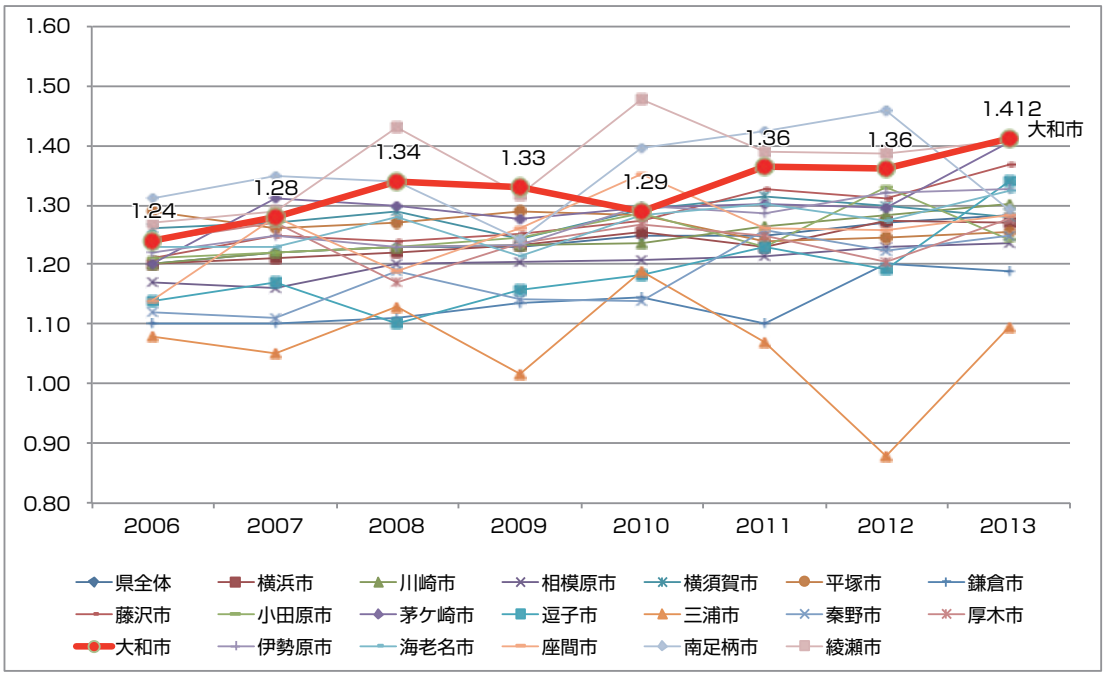
一方で、人口が減少しないといわれている「2.07」には及ばない状況です。

[図表 7]　合計特殊出生率の推移



（出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

[図表 8]　神奈川県内 19 市の合計特殊出生率の推移

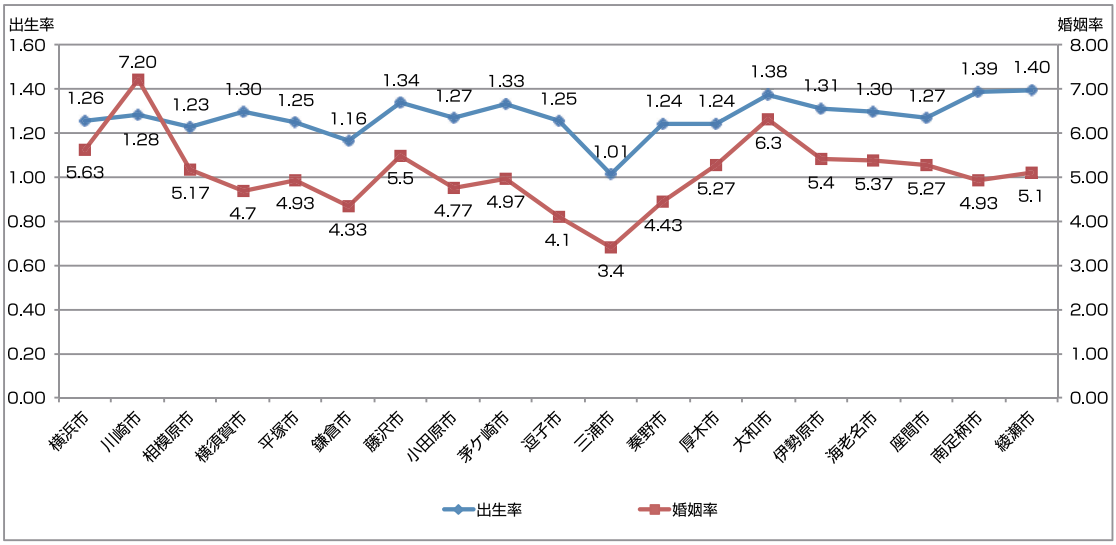


（出展：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

合計特殊出生率と婚姻率

[図表 9] は、県内 19 市における合計特殊出生率と人口千人当たりの婚姻率（2011 ～ 2013 年の平均）を示しています。この図表から、婚姻率と出生率の高さには一定の相関がみられるものと捉えられます。

[図表 9]　神奈川県内 19 市における合計特殊出生率及び、婚姻率の推移



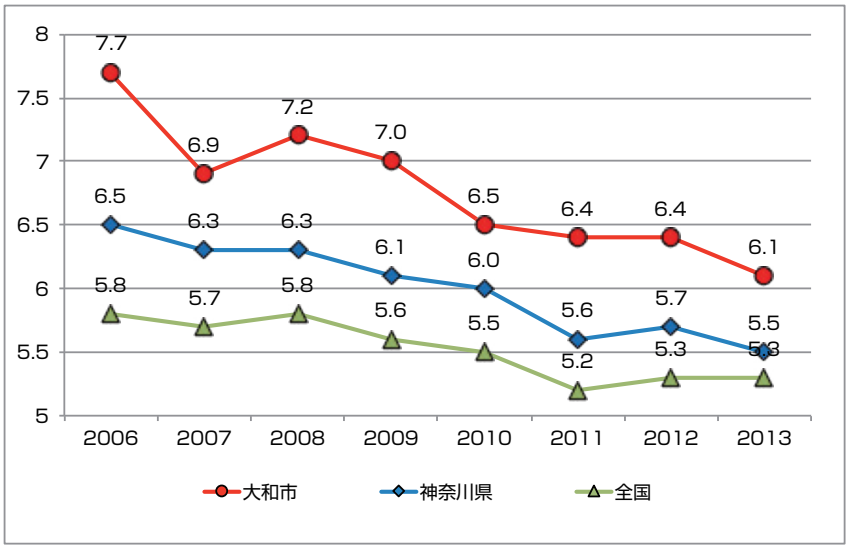
（出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

婚姻件数と婚姻率の推移

[図表 10] は、大和市、神奈川県、全国における婚姻率の推移です。大和市の婚姻率は、全国平均に対して上回っているものの、年々、減少傾向にあります。

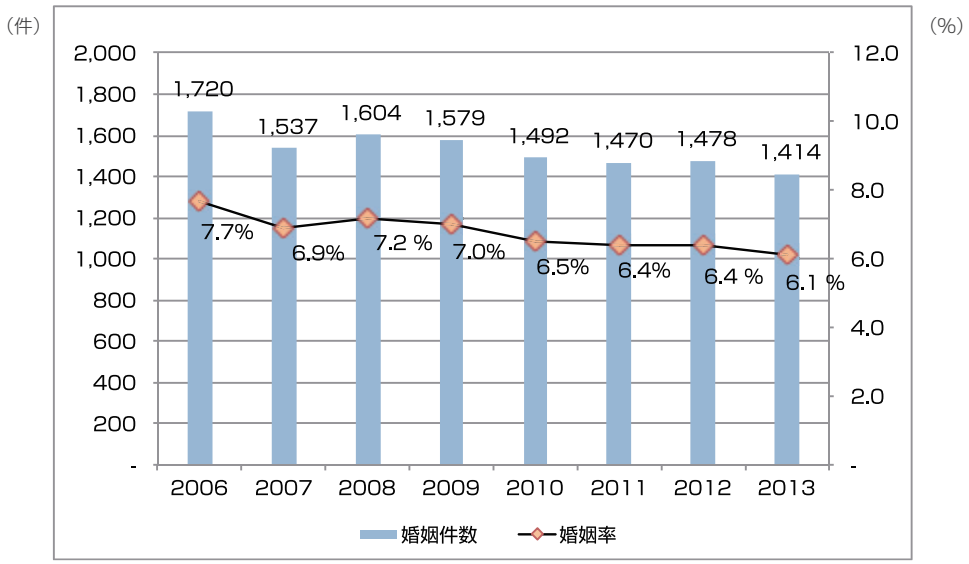
また、[図表 11] は、大和市のみに着目した婚姻件数と婚姻率を示しています。婚姻件数はここ数年、1400 人台で推移していますが、減少傾向にあります。

[図表 10]　大和市、神奈川県、全国における婚姻率の推移



（出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

[図表 11]　大和市における婚姻率と婚姻件数の推移



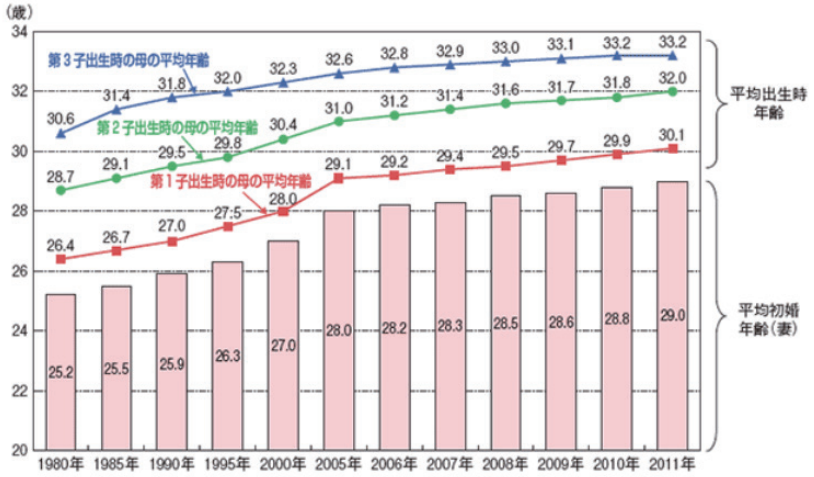
（出典：神奈川県衛生統計年報のデータをもとに作成）

平均初婚年齢と母親の平均出産時年齢の年次推移

[図表 12] は、全国の平均初婚年齢と母親の平均出産時年齢の推移を示したものです。

平均初婚年齢及び、平均出産時年齢とも、約 30 年前と比べて、３年程度上昇しており、晩婚化、晩産化が進んでいると捉えられます。

[図表 12]　全国における平均初婚年齢と平均出産年齢の推移



（出典：厚生労働省「人口動態統計」より）

４．人口減少等による影響は

国の経済財政諮問会議の下に設置された「選択する未来」委員会の議論の中では、『現状が続けば、人口減少と高齢化が進み、日本経済は縮小し、国力も低下していく可能性が高い』とし、具体的には、労働人口の減少による経済規模の縮小や、社会保障給付費の増加傾向による財政破綻などをあげています。

こうしたことから、本市においても、日常生活への影響は、少なからず出てくるものと考えられます。

＜参考＞

平成 26 年度に開催した「やまと市民討議会」では、「大和市がもっと子育てしやすくなるためには」というテーマで討論を行いました。子育て環境の充実は、出生率の増加にも繋がることが考えられます。

参考として、大和市の子育て施策について、P.10 ～ 13 で紹介します。

大和市　年齢ステージ別子育て

＜本市が行っている子育て支援事業を年齢・分野別にまとめました＞

	妊娠・出産期	乳児期（0～1歳）	保育園・幼稚園期（2～5歳）
健診・教室等	市 妊婦健診 妊婦中の健康管理を促すための健診を無料で受診できます	補 乳児家庭全戸訪問 育児の支援や情報提供のために家庭を訪問します	市 2歳児歯科相談 歯科健診や歯磨き指導等
	市 プレママ・パパ教室 第1子目のママ・パパを対象とした、妊娠・出産・育児に関する基本講座	市 乳幼児健診 月齢に応じた発育を確認します（4か月・8か月・1歳6か月・3歳6か月）	
		市 離乳食教室 ・幼児食教室　・おべんとう教室 月齢に応じた食事等に関する講座	
子育て支援・発達支援・相談支援等	他市と比較し、手厚い支援体制となっています。	補 ファミリーサポートセンター　地域における会員相互の子育て	
		市 保育コンシェルジュ 家庭のニーズにあった保育サービスの情報提供を行う相談員	
		市 地域育児センター事業 保育所17園による地域における子育て支援プログラム ・育児相談事業　・地域育児講座　・開放保育あそぼう会等	
		市 低体重児育児支援 低体重児育児支援と保護者を対象とした健康管理・育児支援	
		市 おやこ教室 心理発達面に不安のある子の発達を促す支援	
		児童発達支援 発達に不安のある子を対象とした、日常生活動作指導や集団生活への適応訓練の福祉サービス	
		市 育児相談 乳幼児の健康相談	
		市 子どもの発達相談 専門職員による発達に関する悩み相談	
		市 家庭児童相談 家庭相談員による子育てに関する悩み相談	

市…大和市の自由に使える財源だけで行う事業　補…事業を推進するために、国や県の財源と一緒に行う事業

サービス情報

小学生期（6～12歳）	中学生期（13～15歳）

市 **自閉症療育講座**
自閉症など発達障がいのある子への対応などを学ぶ講座

支援活動をサポート

ファミリーサポート

■ **放課後等デイサービス**
発達に不安のある子を対象とした、生活能力向上のための必要な訓練等の福祉サービス

市 **青少年相談**
主に学齢時期の子育て青少年に関する相談

■…実施が義務付けられている事業

	妊娠・出産期	乳児期（0～1歳）	保育園・幼稚園期（2～5歳）
子育て関連施設	県内33市町村の助成状況 不育症：12市町村（26年度） 一般不妊：2市（26年度） 特定不妊：14市町村（26年度） 出産費：大和市のみ（26年10月～） ※不育症、一般不妊、出産費の助成は、大和市が県内で初めて導入！ ※助成を行っている市町村は増えているが、不育症・一般不妊・特定不妊の3点とも助成をしているのは大和市のみ！	補 子育て支援センター 保護者の育児不安を解消するため、育児相談、子育てサロンの開催をしています 補 つどいの広場「こどもーる」 子育て親子が気軽に集え、相談ができ、子育て情報がある集いの広場 子育て支援センター	 こどもーる鶴間
通園通学施設		■認可保育所・認定こども園 公立4園・民間29園、入所定員計2,695人 ・私設保育施設 民間18園	・幼稚園 民間18園
手当助成	市 不育症治療費の一部助成（上限30万円） 市 タイミング法・人口授精などの一般不妊治療費の一部助成（上限5万円） 市 体外受精・顕微授精等の特定不妊治療費の一部助成（上限5万円） 市 第3子以降の出産費の助成（上限5万円）	■児童手当 児童の健やかな成長に資するための手当支給。月額5～15千円／月 ■児童扶養手当　■ひとり親家庭等医療費助成 父母の離別によるひとり親家庭等について、手当の支給、医療費の 補・市 小児医療費の助成 中学校卒業までの児童にかかる保険診療の自己負担分を助成 中学校卒業までを対象としているのは、神奈川県下の市としては、厚木市、海老名市と大和市！ （他市は小学校1～6年生までが多い）	

市…大和市の自由に使える財源だけで行う事業　補…事業を推進するために、国や県の財源と一緒に行う事業

小学生期（6 ～ 12 歳）	中学生期（13 ～ 15 歳）
補 **児童館** 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするため、市内 22 カ所に設置しており、指導員のもとに様々な活動が行われています	
補 **放課後子ども教室** 公立小学校全 19 校において放課後の児童の安全・安心な居場所を設け、地域社会の中で児童の健全育成を図ります	
市 **青少年センター** 青少年の健全な育成を図るため、青少年に交流と活動の場を提供します	
市 **放課後寺子屋やまと** 公立小学校全 19 校において実施 放課後に児童の学習支援を行い、学力の向上を図ります	
■ **小学校** 公立 19 校、私立 1 校	■ **中学校** 公立 9 校、私立 1 校
補 **放課後児童クラブ** 公設 17 か所、民営委託 2 か所、民間補助 5 か所 保護者が就労等で昼間不在になる児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供します	 大和中学校

助成

※対象年齢は自治体によって異なります。

■…実施が義務付けられている事業

やまと市民討議会
- 人口減少を食い止めるアイディア編 -

報告書

（平成 27 年度 第 1 回）

平成 28 年 1 月

発行　大和市 政策部 総合政策課
〒 242-8601　神奈川県大和市下鶴間 1-1-1
電話　046-260-5304